

合志市文化財調査報告第7集

合志市内遺跡発掘調査報告書

平成29(2018)年度～令和4(2022)年度

開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査

2024年

合志市教育委員会

序 文

本市は、熊本市の北東に隣接し、総面積 53.19 平方キロメートル(東西約 12 キロ、南北約 8 キロ)です。市域全体は緩やかな台地に立地し、大きな山や高い山地もなく、災害の少ない自然条件に恵まれた穏やかな地勢となっています。北部地域は、阿蘇山の火山灰が堆積した「黒ボク」に覆われた広大な農地が広がっており、農業生産の基盤となっています。中央地域は、既存の住宅地が展開しており、農業研究機関や医療機関、教育機関などの国有地・県有地などの広大な土地が存在しています。南部地域は、熊本市と隣接しており住宅地と商業地からなる市街地を形成しています。以前から国道・県道及び私鉄沿線に発展し、近年では既成市街地から連続して住宅地が広がり、新市街地を形成しています。

本市の人口は、本市の人口は、平成 18 年、52,516 人から令和 6 年 1 月末現在、64,825 人となっており、さらに人口の増加が見込まれます。今後、TSMC の進出に伴う工業団地、商業施設、住宅開発さらには、中九州横断道路など開発が増加する地域でもあります。これに伴い埋蔵文化財発掘調査が増加することが見込まれております。

本報告書は、文化財の活用を行うために発掘調査の成果を纏め、この度、刊行するものです。本報告書が市民の皆様の文化財に対する理解と認識を深める一助となり、歴史資料としてご活用していただければ幸いに存じます。

最後に、発掘調査及び報告書作成にあたって多くのご協力、ご指導を賜りました関係各位に対し、紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月

熊本県合志市教育長 中島 栄治

例言

1. 本書は、合志市教育委員会が平成 29 年度から令和 4 年度に開発に先立って実施した予備調査報告書である。
2. 合志市では、令和 2 年度から令和 3 年度に国庫補助を受けて、市内遺跡に関して試掘調査及び確認調査を実施した。
3. 現地での実測図作成及び写真撮影など記録業務は、調査員が実施した。
4. 出土した遺物は、合志市文化財収蔵庫において保管している。また現地での実測図及び写真データは、合志市教育委員会で管理している。
5. 本書の執筆は、合志市教育委員会の米村大、奈須和貴が分担して行い、編集は、米村が行った。

本文目次

序文

例言

第 I 章 はじめに

- 第 1 節 はじめに..... 1
- 第 2 節 調査の組織..... 3

第 II 章 調査の成果

- 第 1 節 平成 29 年度の調査..... 4
- 第 2 節 平成 30 年度の調査..... 12
- 第 3 節 令和元年度の調査..... 13
- 第 4 節 令和 2 年度の調査..... 28
- 第 5 節 令和 3 年度の調査..... 37
- 第 6 節 令和 4 年度の調査..... 53

報告書抄録

第1章 はじめに

第1節 はじめに

本市の埋蔵文化財包蔵地は、約 100 箇所あり、北側に多く分布している。遺跡地図については、庁内の部局に閲覧できるようにするとともに HP でも掲載を行っている。包蔵地内の開発を行う場合は、事業者より文化財保護法に基づく届出の提出を受け、予備調査（踏査・試掘・確認調査）を行っている。遺跡の内外に問わず、不動産売買や設計図の作成前である計画段階であっても埋蔵文化財確認調査依頼書又は試掘調査の承諾書を以て予備調査を実施している。本市の遺跡地図は、市独自の遺跡地図がないため熊本県教育委員会作成の遺跡地図を基礎としており、遺跡外における不時発見を回避するためにも大規模な開発（5000㎡以上）、包蔵地周辺 50 m以内は、試掘調査を実施している。

本市の埋蔵文化財包蔵地照会件数は、平成 28 年の熊本地震発生後に住宅開発が増加し、平成 28 年度が 575 件、平成 29 年度が 461 件であった。平成 30 年度は一時的に 400 件に減った。しかし、その後の照会件数は、令和元年度以降、増加に転じ令和元年度 658 件から令和 4 年度に 780 件まで増加した。この増加の要因は、御代志再開発をはじめ住宅、工業団地の造成等などの開発が考えられる。

試掘・確認調査の分布は、平成 29 年度から令和 2 年度まで須屋において分譲住宅の建設や道路建設などの開発が相次いだ。令和 3 年度以降は減少傾向にある。一方で令和 3 年頃からは、合生の辻久保における分譲住宅の建設や竹迫・上庄周辺での住宅建て替えなどが増加している。特に、近年は上庄などに分譲住宅の開発が増加している。

表 1 試掘・確認調査件数

	照会	93条	94条	発掘調査	試掘・確認調査
H28年度	575	10	1	1	4
H29年度	461	11	4	0	12
H30年度	400	5	0	1	4
R1年度	658	10	0	0	13
R2年度	700	16	0	0	8
R3年度	690	25	0	0	14
R4年度	780	12	2	0	24

表2 試掘・確認調査一覧表

番号	遺跡名	所在地	原因	実施日	調査	結果
No.1	梨の木遺跡	須屋字中園屋敷1100-1他	個人住宅	平成29年4月21日	確認調査	慎重工事
No.2	高木原遺跡	合生字高木60-21、71、97-2	道路拡幅	平成29年6月12日～16日	確認調査	本調査
No.3	須屋城跡	須屋523-1他	個人住宅	平成29年6月21日、 令和元年12月8日	確認調査	工事立会
No.4	千経塚遺跡	上庄字千経塚2690、豆ヶ原2409-3	道路拡幅	平成29年7月25日～26日	確認調査	慎重工事
No.5	須屋城跡	須屋字船入483-1他	店舗建設	平成29年12月18日～20日	確認調査	慎重工事
No.6	桑鶴遺跡	福原中村廻829-3	個人住宅	平成30年7月17日	確認調査	慎重工事
No.7	梨の木遺跡	須屋1892-1	個人住宅	平成31年4月16日	確認調査	慎重工事
No.8	駄飼馬遺跡	野々島5379-1	個人住宅	令和元年6月6日	確認調査	慎重工事
No.9	須屋城跡	須屋字橋ノ元663-2	分譲住宅	令和元年6月6日	確認調査	慎重工事
No.10	向島遺跡	須屋向島1057、1058	分譲住宅	令和元年6月19日	確認調査	埋蔵文化財あり
No.11	国泰寺跡	上庄1-1	駐車場造成	令和元年8月21日～23日	試掘調査	本調査
No.12	須屋城跡	須屋516-1、5、6	駐車場	令和元年8月21日～23日	試掘調査	慎重工事
No.13	須屋城跡	須屋504-3、9、10、11、12	分譲住宅	令和元年9月19日～20日	確認調査	着手後厳重注意
No.14	須屋城跡	須屋字宮ノ前793-1	個人住宅	令和元年10月9日	確認調査	慎重工事
No.15	陣ノ内遺跡	幾久富陣ノ内1315-3	分譲住宅	令和元年10月9日	確認調査	慎重工事
No.16	向島遺跡	須屋1047-1、1048	アパート建築	令和2年3月16日	確認調査	慎重工事
No.17	須屋城跡	須屋503-1、507-1	分譲住宅	令和2年4月9日	確認調査	慎重工事
No.18	江良遺跡	合生1367-1	駐車場	令和2年5月25日	確認調査	慎重工事
No.19	原口新城跡	豊岡228-3	個人住宅	令和2年9月23日	確認調査	慎重工事
No.20	宿の山遺跡	須屋1942-1	分譲住宅	令和2年10月26日	確認調査	慎重工事
No.21	船入遺跡	須屋439-1、5	分譲住宅	令和2年11月11日	確認調査	慎重工事
No.22	須屋城跡	須屋511-1	分譲住宅	令和2年12月8日～9日	確認調査	慎重工事
No.23	小合志原遺跡	合生3850	グラウンド造成	令和3年2月8日～9日	確認調査	慎重工事
No.24	御領遺跡	福原2312-1	新築造成	令和3年4月14日	確認調査	慎重工事
No.25	宿の山遺跡	須屋1976-1	駐車場造成	令和3年7月27日	確認調査	慎重工事
No.26	須屋城跡	須屋531-1、532-2	宅地造成	令和3年8月23日	確認調査	慎重工事
No.27	御領遺跡	福原2279-3、2279-6	個人住宅	令和3年8月23日	確認調査	工事立会
No.28	野付遺跡隣接地	竹迫1882-1、1883-1	不動産	令和3年11月16日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.29	笹山遺跡	御代志713-13	増築	令和3年11月16日	確認調査	慎重工事
No.30	木瀬遺跡	上庄字出口1472-5	個人住宅	令和3年12月3日	確認調査	慎重工事
No.31	小園遺跡	豊岡135-1	宅地造成	令和4年1月11日	確認調査	工事立会
No.32	御手洗遺跡	幾久富村廻1054-2	個人住宅	令和4年1月11日	確認調査	慎重工事
No.33	小合志原遺跡隣接地	合生辻原3847、3946、3953-1	分譲住宅	令和4年1月26日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.34	御領遺跡	福原居屋敷2302-1	個人住宅	令和4年1月26日	確認調査	慎重工事
No.35	野付遺跡	福原2224-2、2246、2247	個人住宅	令和4年3月24日	確認調査	慎重工事
No.36	原口新城跡	豊岡宮本226-2	個人住宅	令和4年3月24日	確認調査	慎重工事
No.37	竹迫水迫	竹迫230、232	工場用地	令和4年5月24日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.38	千経塚遺跡	上庄字千経塚2736-1、2、3	市道	令和4年5月27日	確認調査	慎重工事
No.39	野田原遺跡	野々島字芝原5359-4	個人住宅	令和4年6月13日	確認調査	工事立会
No.40	小合志原遺跡隣接地	合生3822-4	不動産	令和4年6月16日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.41	野付遺跡	福原字東鶴2176-1	個人住宅	令和4年8月22日	確認調査	慎重工事
No.42	高木原遺跡	合生字高木97-2	不動産	令和4年8月22日	確認調査	埋蔵文化財あり
No.43	小合志原遺跡	合生字辻原3850-21	個人住宅	令和4年8月30日	確認調査	慎重工事
No.44	陣ノ内遺跡	上庄19-3	個人住宅	令和4年8月30日	確認調査	慎重工事
No.45	須屋城跡	須屋字西谷687-1	個人住宅	令和4年10月21日	確認調査	慎重工事
No.46	野田原遺跡隣接地	野々島字芝原5343-1	個人住宅	令和4年10月21日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.47	出口遺跡隣接地	上庄字筒井1366、1374-1の一部	個人住宅	令和4年10月21日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.48	寺崎遺跡隣接地	上庄字寺崎2146-5他	個人住宅	令和4年11月15日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.49	船入遺跡隣接地	須屋字船入470-1、472-4他	個人住宅	令和4年11月17日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.50	花園遺跡	野々島字花園5136-1	個人住宅	令和4年11月17日	確認調査	工事立会
No.51	高木原遺跡	合生字高木97-1	不動産	令和4年12月26日	確認調査	埋蔵文化財あり
No.52	八反畑遺跡	野々島字八反畑4811-4	駐車場	令和4年12月26日	確認調査	慎重工事
No.53	若原石棺隣接地	野々島中野4393-35、84	分譲住宅	令和5年1月24日	試掘調査	埋蔵文化財なし
No.54	轟遺跡	福原出分673-1	個人住宅	令和5年1月24日	確認調査	慎重工事
No.55	中林遺跡	栄字屋敷1224	個人住宅	令和5年3月27日	確認調査	慎重工事

第2節 調査の組織

発掘調査（平成29年度）

調査主体 合志市教育委員会
調査事務局 北里 利朗（生涯学習課課長）
栗木 清智（同課班長）
菅 真一郎（同課主幹）
調査担当者 米村 大（文化財担当主事）

発掘調査（平成30年度）

調査主体 合志市教育委員会
調査事務局 栗木 清智（生涯学習課課長）
太田 徹（生涯学習課課長補佐）
調査担当者 米村 大（文化財担当主事）

発掘調査（令和元年度）

調査主体 合志市教育委員会
調査事務局 栗木 清智（生涯学習課課長）
大久保 和生（生涯学習課課長補佐）
山隈 和徳（生涯学習課課長補佐）
調査担当者 米村 大（文化財担当主事）
前田 純子（文化財担当主事）

発掘調査（令和2年度）

調査主体 合志市教育委員会
調査事務局 栗木 清智（生涯学習課課長）
山隈 和徳（生涯学習課課長補佐）
調査担当者 米村 大（文化財担当主査）
前田 純子（文化財担当主事）

発掘調査（令和3年度）

調査主体 合志市教育委員会
調査事務局 飯開 輝久雄（生涯学習課課長）
山隈 和徳（生涯学習課課長補佐）
調査担当者 米村 大（文化財担当主査）
前田 純子（文化財担当主事）

発掘調査（令和4年度）

調査主体 合志市教育委員会
調査事務局 牧野 淳一（生涯学習課課長）
山隈 和徳（生涯学習課課長補佐）
調査担当者 米村 大（文化財担当主査）
前田 純子（文化財担当主事）

整理報告書作成（令和5年度）

調査主体 合志市教育委員会
調査事務局 牧野 淳一（生涯学習課課長）
合志 新一（生涯学習課課長補佐）
調査担当者 米村 大（文化財担当主幹）
前田 純子（文化財担当主事）

第Ⅱ章 調査の成果

第1節 平成29年度の調査

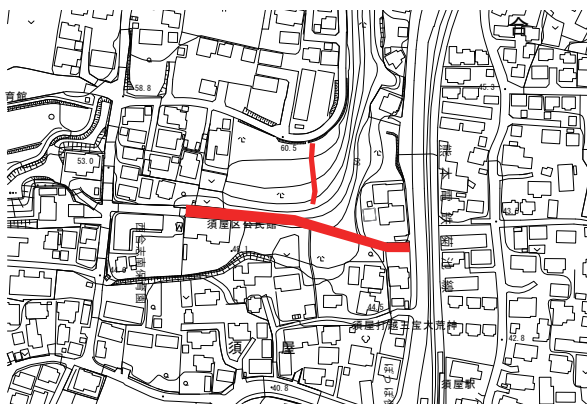
梨の木遺跡

【所在地】合志市 須屋字中園屋敷 1100 - 1、
1102、1107、1109 - 1、1109 - 2 他

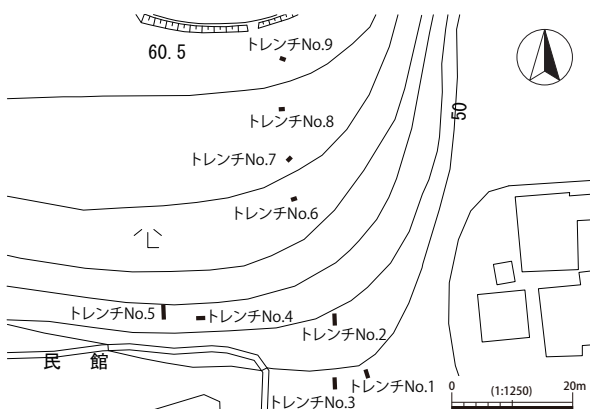
申請地内に9箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。道路改良工事では、申請地が削平される予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは9箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さは約1m～3m、掘削深度は約0.7m～1.5mとなる。土層の堆積状況は表土下より2層の褐色粘質土、3層の暗褐色粘質土、4層の橙褐色粘質土（ローム）、5層の橙褐色粘質土、6層の砂礫層が順に堆積する。

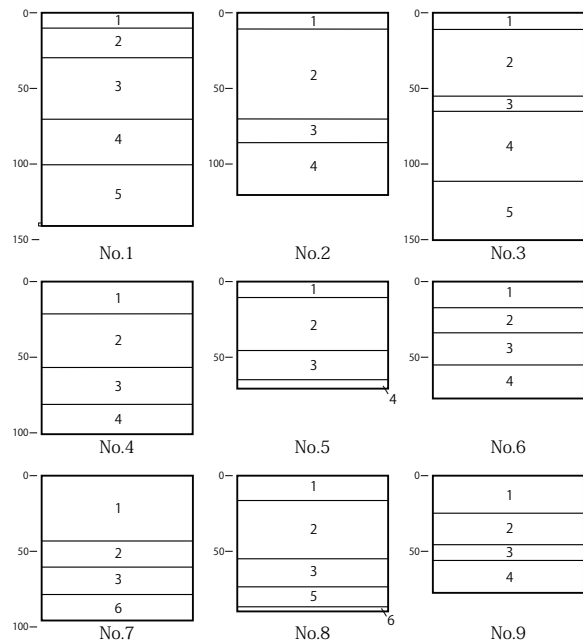
当該地は梨の木遺跡の範囲内ではあるが、今回の調査では遺構を確認できなかった。確認調査トレンチ No.2 と No.3 から数点の土師器の土器片が出土したが、遺構は認められなかった。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1250)



土層注記

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1層 表土 | |
| 2層 褐色粘質土 | 竹の根により攪乱 |
| 3層 暗褐色粘質土 | 粘性やや強く、ややしまる。 |
| 4層 橙褐色粘質土 | 粘性やや強く、ややしまる。
1cm程の中礫5% |
| 5層 橙褐色粘質土 | あまりしまらない。
1～10cmの中礫20% |
| 6層 砂礫層 | 20cm程の円礫僅かに含む。 |

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.4 壁面

高木原遺跡

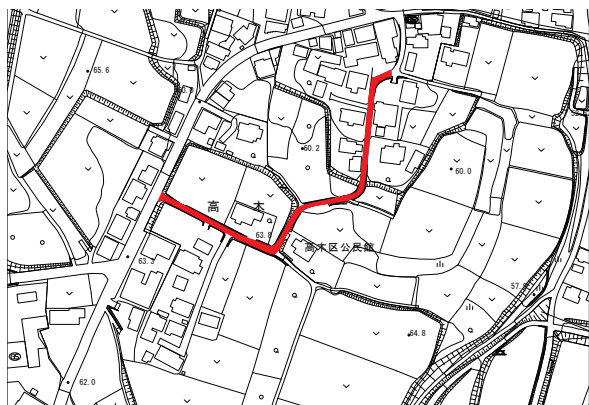
【所在地】 合志市 合生字高木 60 - 21、71、
97 - 2

申請地内に3箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。道路拡幅工事では、拡幅部分が削平される予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.8mで、長さはトレンチNo.1が約1.8m、No.2が約2m、No.3が約2.8m、掘削深度はトレンチNo.1が約1.8m、No.2が約2.4m、No.3が約1.4mとなる。

当該地は高木原遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、3箇所の確認調査トレンチから遺構と遺物が確認できた。トレンチNo.1からは土坑1基と竪穴建物跡と推測される遺構、溝跡の可能性が高い遺構が認められた。トレンチNo.2では、溝跡が認められた。また、トレンチNo.3では、竪穴建物跡と推測される遺構が認められた。竪穴建物跡の可能性のある2基の遺構は弥生時代、溝跡2条は古代と思われる。これらのことから、道路拡張工事を行うにあたっては、本調査が必要であると判断した。

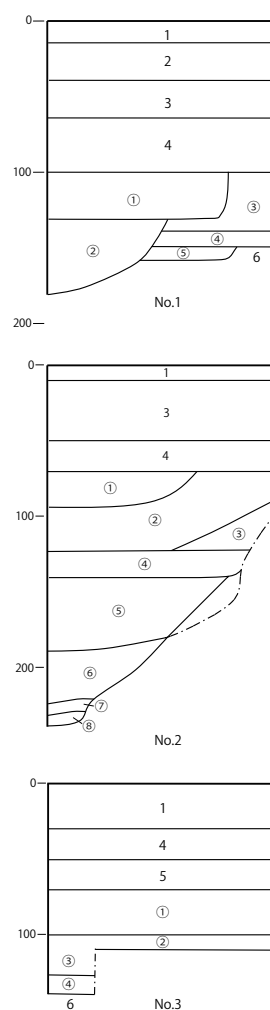
本遺跡は、かつて西部実業学校の実習地があり、坂本経堯氏によって奈良時代の銅製帯金具（丸鞆）や蔵骨器を採取されている。古くから本遺跡は縄文時代～古代までの遺構、遺物が確認されている。延喜式駅路成立以前の鞠智城に通じる「車路」が現在の国道387号線（菊池往還）に想定されており、本遺跡の東側にあたる台地縁辺に沿ってかつての「菊池電鉄」の軌道付近がその車路推定地にあたる。本遺跡は、古代の合志郡衙推定地として以前より指摘されている。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/2000)



土層注記

- 1層 表土
- 2層 灰褐色粘質土 しまりがない。
- 3層 褐色粘質土 橙色粒混入。
- 4層 褐色粘質土 3層に類似する。
- 5層 褐色粘質土 あまりしまりがない。
- 6層 ニガシロ

第3図 土層断面図1 (1/50)

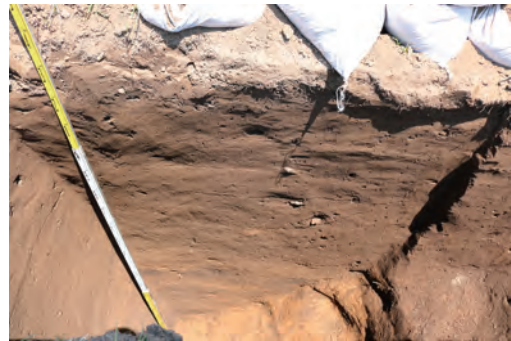
土層注記

- トレンチ No.1 (①層 土坑、②層 溝(古代)、③・④層 住居?(弥生))
- ①層 灰褐色粘質土 橙色粒(0.5~1cm) 10%、灰褐色粘質土ブロック(10cm程)を多く含み、あまりしまらない。
- ②層 褐灰色粘質土 灰褐色粘質土・橙色粒混入のブロック(10cm程)を含み、あまりしまらない。
- ③層 暗褐色粘質土 極め細かい粘質土、橙色粒(1~10cm)をわずかに含む。
- ④層 暗褐色粘質土 硬化面、炭化物を含む。
- ⑤層 暗褐色粘質土 やや軟質、あまりしまらない。
- トレンチ No.2 (①~⑧層 溝(古代?))
- ①層 褐色粘質土 ローム粒(0.5~2cm) 20%、ローム混入のブロック(10cm程)を多く含み、あまりしまらない。
- ②層 褐灰色粘質土 ローム粒(0.5~5cm) 20%、①層よりしまらない。
- ③層 暗褐色粘質土 極め細かい粘質土、橙色粒(1~10cm)をわずかに含む。
- ④層 褐灰色粘質土 ローム粒(0.5~10cm) 30%、しまらない。
- ⑤層 暗褐色粘質土 ローム粒(0.5~5cm) 10%、粘性やや強く、ボソボソした土。
- ⑥層 暗褐色粘質土 ロームが主体、粘性やや強く、極め細かい。
- ⑦層 黄褐色粘質土 粘性やや強く、極め細かい。
- ⑧層 黒褐色粘質土 ⑦層 50%、ローム(10cm) 50%
- トレンチ No.3 (①~④層 住居?)
- ①層 暗褐色粘質土 トレンチ No.1の③層に類似。
- ②層 暗褐色粘質土 ①層よりしまらない。
- ③層 暗褐色粘質土 硬化面
- ④層 暗黄褐色粘質土 ローム 50%、しまらない。

第3図 土層断面図2 (1/50)



トレンチ No.2



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1



トレンチ No.3 掘削前



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.3 壁面

須屋城跡

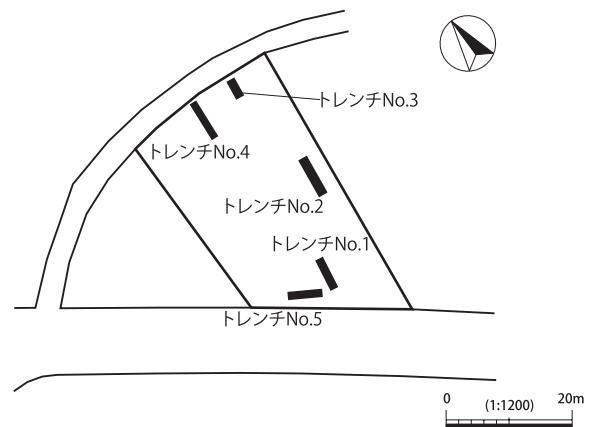
【所在地】 合志市 須屋 523-1 他

申請地内に 5 箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

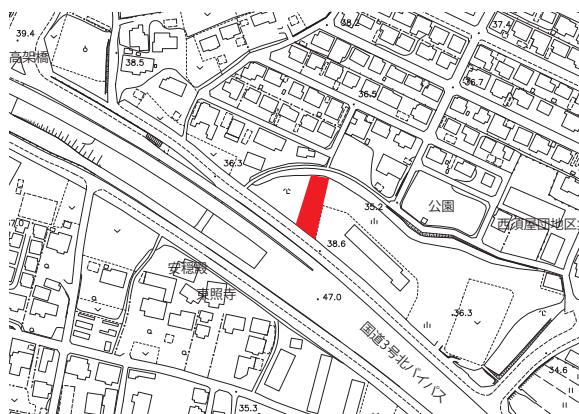
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは 5 箇所あり、幅は全て約 0.7m で、長さはトレンチ No.1、No.5 が約 2 m、No.2、No.4 が約 2.5 m、No.3 が約 1 m となる。掘削深度はトレンチ No.1 は約 1.6 m、No.2 は約 1.8 m、No.3 は約 1.1 m、No.4 と No.5 は約 1.5 m となる。

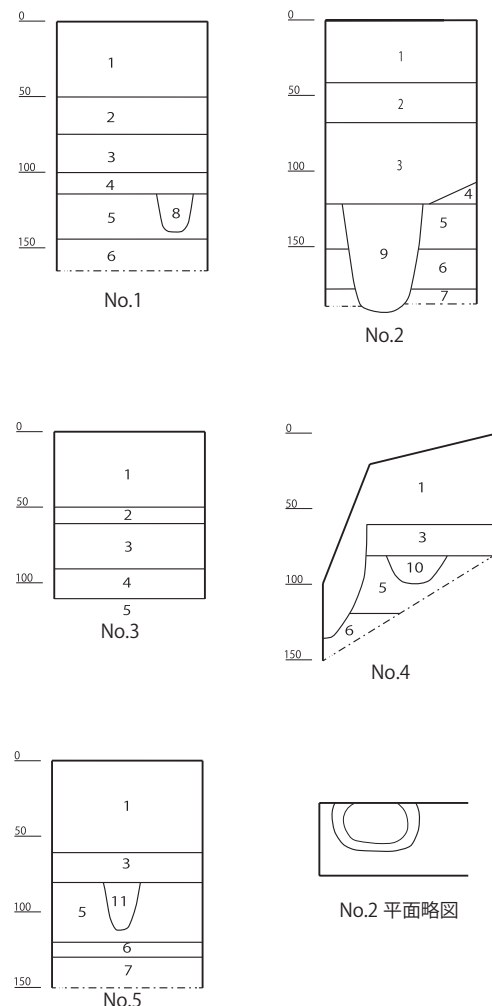
当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の確認調査では、トレンチ No.1 と No.2 は地表下約 1.3 m の 5 層上面で土坑が検出された他、遺物も出土した。また、トレンチ No.4 は地表下約 0.8m の 5 層上面で土坑が、No.5 は地表下約 0.8m の 5 層上面で PIT を 1 基検出した。今回の工事内容は宅地造成であり基本的に盛土による工法のため、埋蔵文化財に影響を与えることはない。しかし、側溝部分は深度 0.65m、浸透柵は深度約 3 m、L 字擁壁は深度 2.62 m となり遺構面に達する深度ではあるが、工事面積が狭小のため、工事立会を実施した。なお、トレンチ No.4 と No.5 は令和 2 年 12 月に確認調査を行っている。



第 2 図 トレンチ位置図 (1/1200)



第 1 図 地形図 (1/5000)



第 3 図 トレンチ土層断面図 (1/50)

土層注記

- 1層 表土
 - 2層 褐色粘質土 あまりしまらない。根による攪乱。
 - 3層 褐色粘質土 2層よりややしまる。
 - 4層 明褐色粘質土 2層より粘質が強く、ややしまる。
 - 5層 黒褐色粘質土 クロニガ
 - 6層 明褐色粘質土 ニガシロ
 - 7層 黄褐色粘質土 ローム
 - 8層 暗褐色粘質土 5層ブロック混入
 - 9層 暗褐色粘質土 炭化物、ローム粒含み、あまりしまらない。
 - 10層 暗褐色粘質土 ややしまる。
 - 11層 黒褐色粘質土 しまりあり、やや粘性あり。
- * 8～11層は溝埋土



トレンチ No.3 壁面



調査箇所全景



トレンチ No.4 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.4 壁面



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.5 壁面

千経塚遺跡

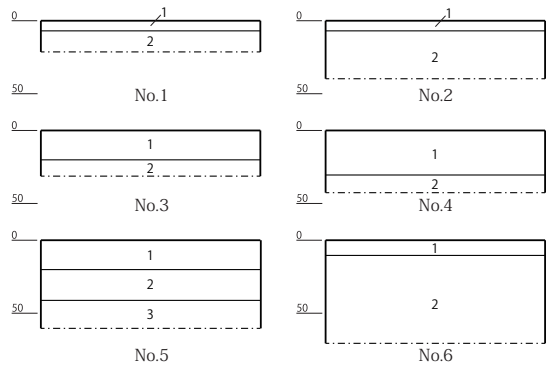
【所在地】 合志市 上庄字千経塚 2690、豆ヶ原
2409 - 3

申請地内に 6 箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

道路拡幅工事では、申請地の拡幅部分が削平される予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは 6 箇所あり、幅は全て約 0.8 m で、長さはトレンチ No.1、3 が約 2.2m、No.2、4 が約 2 m、No.5 が約 2.3 m、No.6 が約 4 m、掘削深度はトレンチ No.1 が約 0.2 m、No.2 が約 0.4 m、No.3 が約 0.3 m、No.4 が約 0.45 m、No.5 が約 0.6m、No.6 が約 0.7m となる。土層の堆積状況は、客土とその直下に黄褐色粘質土（ローム）が堆積する。

当該地は、千経塚遺跡の範囲内である。当該地は既に削平を受けており、今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。

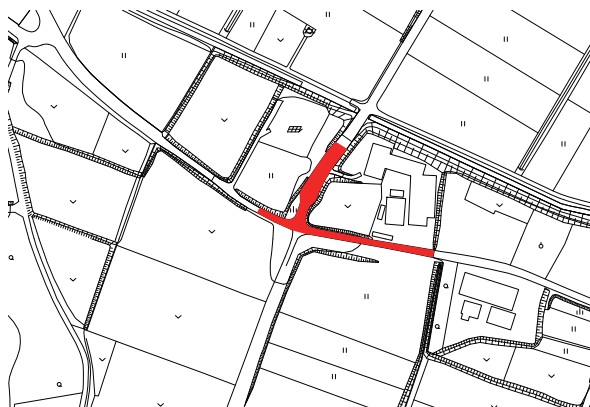


土層注記
1層 表土
2層 褐色粘質土 3層ローム層

第 3 図 トレンチ土層断面図 (1/50)



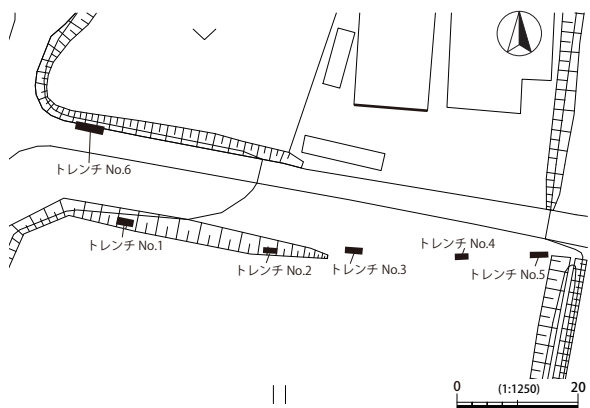
トレンチ No.1



第 1 図 地形図 (1/5000)



トレンチ No.1 壁面



第 2 図 トレンチ位置図 (1/1250)



トレンチ No.1 壁面

須屋城跡

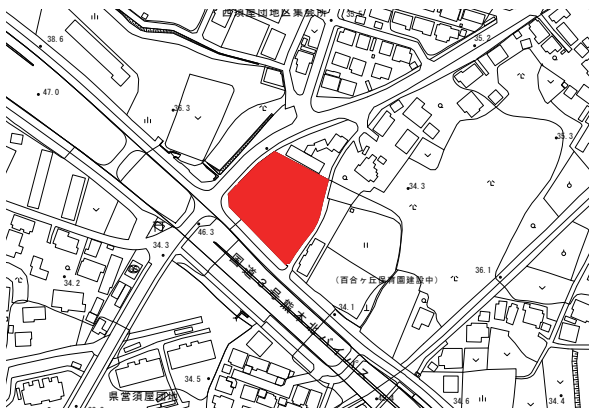
【所在地】 合志市 須屋字船入 483 - 1

申請地内に 16 箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。計画では店舗を現況地盤に建築予定で、盛土を約 0.7 ~ 1 m 施した後に、深度 1.42 m の基礎掘削、深度 5.33 m の 3 箇所の浸透柵の工事を行う予定のため、確認調査を実施した。

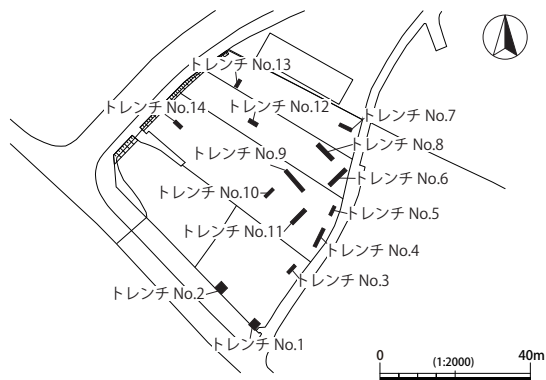
確認調査トレンチは 16 箇所あり、幅は約 1 m ~ 2.5 m、長さは約 2.5 m ~ 7.5 m、掘削深度は約 0.25 m ~ 1.75 m となる。

現地は北西側が須屋城跡、他は須屋城跡と船入遺跡の間に位置している。周辺よりも低く、地元の方の話では、以前は、妙泉寺公園の池から流れる小規模な河川が現在の道路近くにあったと聞いた。これを裏付けるように砂礫層や流路跡が確認された。

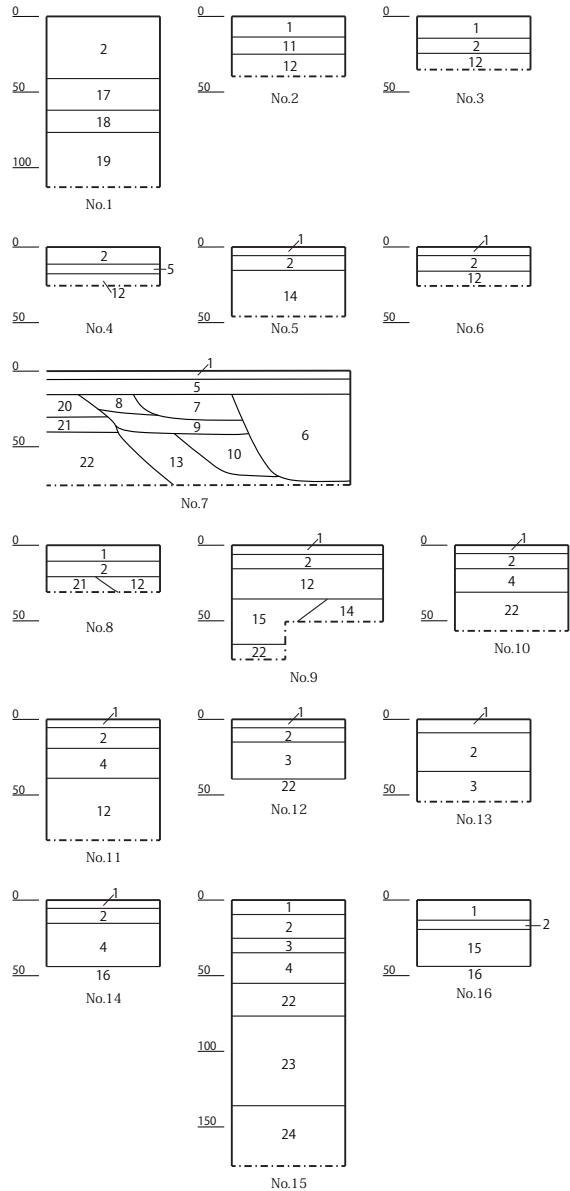
当該地は須屋城跡の範囲内ではあるが、今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



第 1 図 地形図 (1/5000)



第 2 図 トレンチ位置図 (1/2000)



土層注記

- | | | |
|------|---------|----------------------------|
| 1 層 | 表土 | 旧水田耕作土 |
| 2 層 | 灰色粘質土 | |
| 3 層 | 灰色砂礫層 | 粘性強く 0.5cm ~ 1cm の礫を多く含む。 |
| 4 層 | 暗褐色粘質土 | 1 ~ 10cm の礫及び砂粒を僅かに含む。 |
| 5 層 | 灰褐色粘質土 | 鉄分を含む。 |
| 6 層 | 橙褐色砂礫 | |
| 7 層 | 明灰褐色粘質土 | |
| 8 層 | 明灰褐色砂質土 | 7 層よりも砂礫が多い。 |
| 9 層 | 明灰褐色粘質土 | |
| 10 層 | 灰橙褐色砂礫層 | |
| 11 層 | 灰褐色粘質土 | 1 ~ 10cm の礫を含み、やや粘性強い。 |
| 12 層 | 黄褐色粘質土 | 1 ~ 10cm の礫をやや多く含み、粘性やや強い。 |
| 13 層 | 黄褐色粘質土 | 10cm 程の礫を含み、粘性強い。 |
| 14 層 | 褐色粘質土 | 礫を僅かに、砂粒を含む。 |
| 15 層 | 灰色粘質土 | 砂礫を含む。 |
| 16 層 | 灰褐色粘質土 | 1 ~ 10cm の礫をやや多く、砂粒含む。 |
| 17 層 | 黄灰褐色粘質土 | 5cm 程の礫含む。 |
| 18 層 | 灰褐色粘質土 | 砂礫を含む。 |
| 19 層 | 褐色礫層 | 1 ~ 10cm の礫が主体で砂粒を僅かに含む。 |
| 20 層 | 明灰色粘質土 | |
| 21 層 | 灰白色粘質土 | |
| 22 層 | 明灰褐色粘質土 | 1 ~ 5cm の礫を含み、粘質強い。 |
| 23 層 | 明灰褐色粘質土 | 22 層より礫を多く含み、粘質弱い。 |
| 24 層 | 明灰褐色粘質土 | 23 層より礫を多く含み、粘質弱い。 |

第 3 図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景 東より



トレンチ No.6 壁面



調査箇所全景 西より



トレンチ No.7 壁面



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.11 壁面



トレンチ No.4 壁面



トレンチ No.12 壁面

第2節 平成30年度の調査 桑鶴遺跡

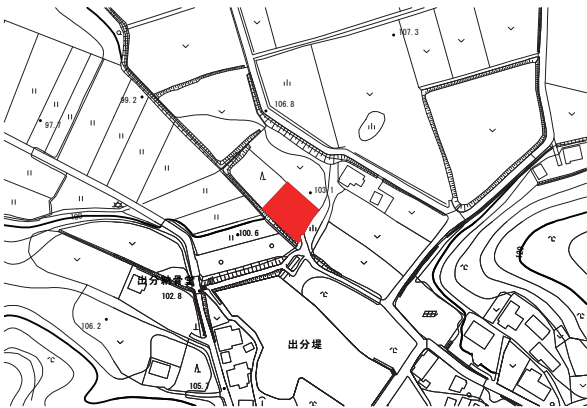
【所在地】合志市 福原字中村廻 829 - 3

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

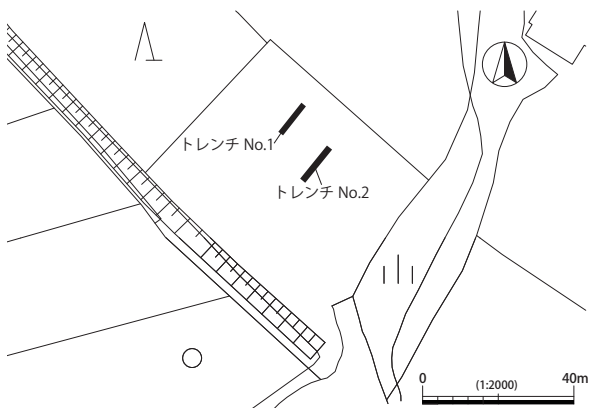
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは2箇所あり、幅は約0.7mで、長さはトレンチNo.1が約4.3m、No.2が約3.7m、掘削深度はトレンチNo.1が約1.6m、No.2が約1.45mとなる。土層の堆積状況は、表土下より2層の暗褐色粘質土、3層の暗褐色粘質土、4層の黒褐色粘質土、5層の暗褐色粘質土、6層の黒褐色粘質土、7層の黄褐色粘質土（ニガシロ）が順に堆積する。

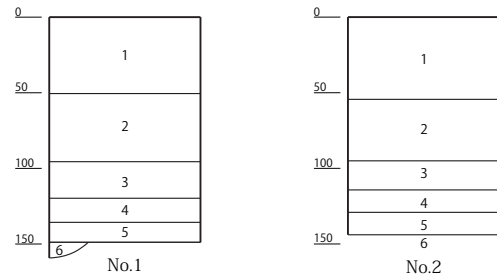
当該地は、桑鶴遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、硬化面が確認できた。また、遺物は縄文土器が出土したが、工事内容も含め、遺構面まで掘削が及ばないため、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/2000)



土層注記

- 1層 表土
- 2層 暗褐色粘質土 しまりはある。粘性弱く、0.1～0.5cmのローム粒を多く含む。
- 3層 暗褐色粘質土 粘性弱く、0.1cm～0.3cmのローム粒を少量含む。2層に比べしまりは弱い。
- 4層 黒褐色粘質土 粘性やや強い。
- 5層 暗褐色粘質土 粘性やや強く、しまりは弱い。4層を含む。
- 6層 黒褐色粘質土 硬くしまる。硬化面。

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2



トレンチ No.2 壁面

第3節 令和元年度の調査

梨の木遺跡

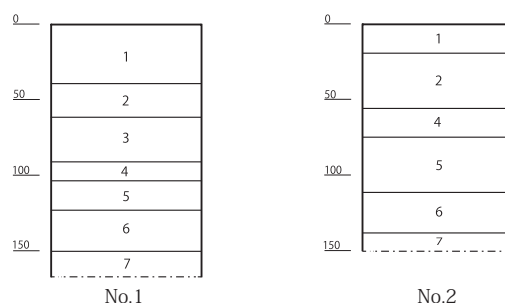
【所在地】合志市 須屋 1892-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチはNo.1、2ともに幅は1m、長さは3.5m、掘削深度はトレンチNo.1が約1.6m、No.2が約1.5mとなる。

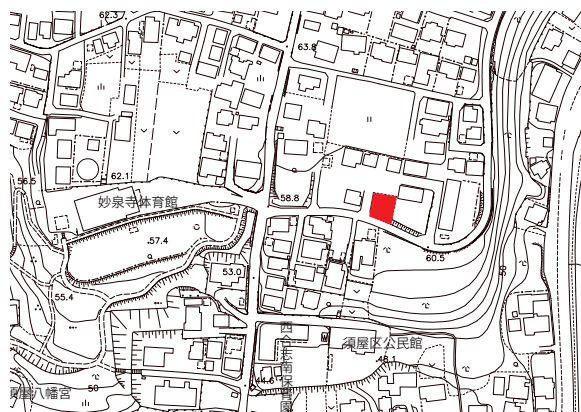
当該地は、梨の木遺跡の範囲内ではあるが、今回の調査では遺構は確認できなかった。確認調査トレンチNo.1から遺物が出土したが、この工事が埋蔵文化財に影響を与えることはない判断した。



土層注記

1層	暗褐色土	表土
2層	暗褐色粘質土	しまりなく、橙色粒含む。
3層	暗褐色粘質土	2層より硬く、1cm程の礫を含む、しまりはない。
4層	黒褐色粘質土	あまりしまらず10cm程の礫を含む。
5層	褐色粘質土	やや硬く、しまる。
6層	暗褐色粘質土	クロニガ
7層	黄褐色粘質土	ニガシロ

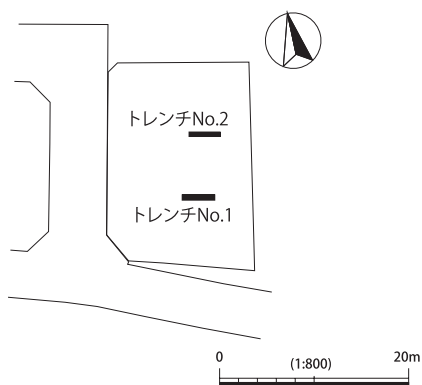
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/800)



トレンチ No.2 壁面

駄飼場遺跡

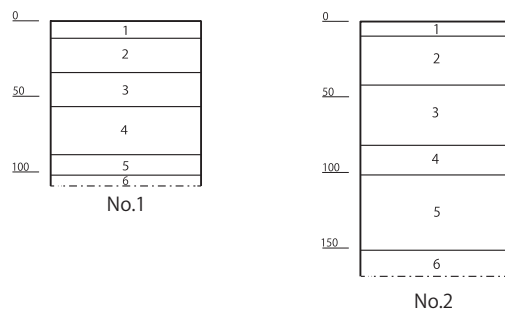
【所在地】 合志市 野々島 5379-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは2箇所とも幅約1mで、長さは約7m、掘削深度はトレンチNo.1は約1.1m、No.2は約1.7mとなる。

当該地は、駄飼場遺跡の範囲内である。トレンチNo.1、No.2から弥生時代の土器は出土したが、遺構は確認できなかった。そのうえで、この工事が影響を与える埋蔵文化財は無いと判断した。



土層注記

- | | | |
|----|--------|---|
| 1層 | 暗褐色土 | 表土 |
| 2層 | 黒褐色土 | しまりがない。 |
| 3層 | 暗褐色粘質土 | 橙褐色粒 0.1～0.2cm 含む。
下層より軟質。 |
| 4層 | 黒褐色粘質土 | ニガシロブロック及び橙色粒 0.1～0.2cm を少量含む。硬質、ややしまる。 |
| 5層 | 褐色粘質土 | ロームブロックを含む。ニガシロに対応。 |
| 6層 | ローム | |

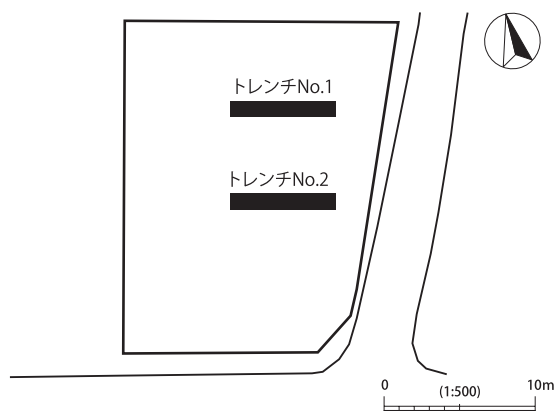
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



トレンチ No.2 壁面

須屋城跡

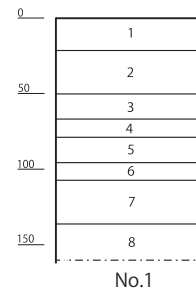
【所在地】 合志市 須屋字橋ノ元 663-2

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは幅が約0.7mで、長さは約2.2m、掘削深度は約1.6mとなる。

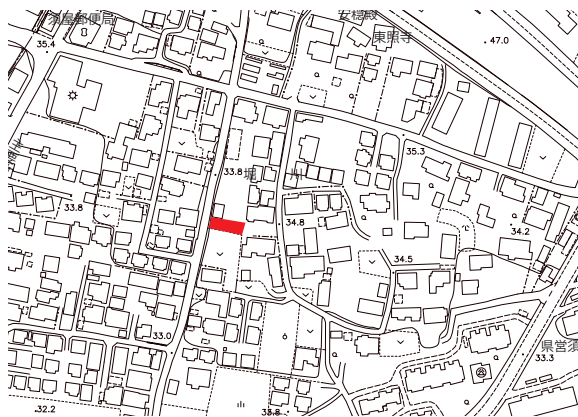
当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の調査では2層より弥生土器の破片が出土したが、遺構は確認できなかった。そのうえで、この工事が影響を与えるような埋蔵文化財は確認できなかった。



土層注記

- | | | |
|----|--------|-------------------|
| 1層 | 黒褐色土 | 客土 |
| 2層 | 黒褐色土 | 黄褐色粒子0.1cm含む。(現代) |
| 3層 | 暗褐色土 | 黄褐色粒子0.5cm含む。 |
| 4層 | 暗褐色土 | |
| 5層 | 暗褐色粘質土 | 下層よりややしまりが弱い。 |
| 6層 | 暗褐色粘質土 | やや硬く、しまる。 |
| 7層 | 黄褐色粘質土 | 粘性・しまりが強く、硬質。ニガンロ |
| 8層 | 黄褐色粘質土 | ローム |

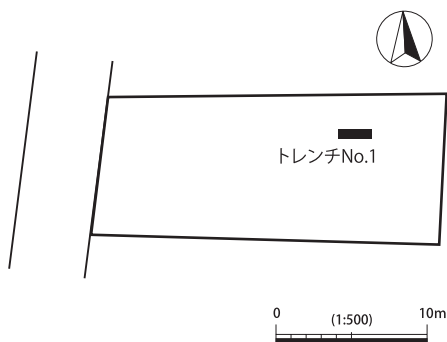
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



トレンチ No.1 壁面

向島遺跡

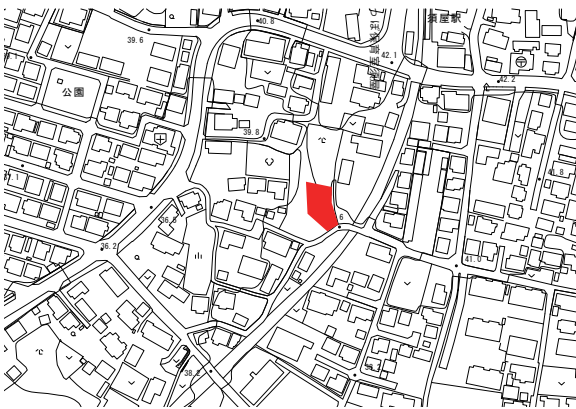
【所在地】 合志市 須屋字向島 1057、1058

申請地内に5箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

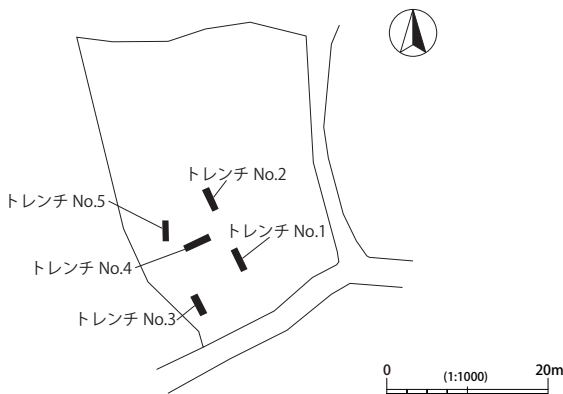
計画では、アパートを現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは5箇所あり、掘削深度は約1.5m～1.8mとなる。このうちトレンチNo.2からは、地表下約1.3mにおいて甕棺が出土した。甕棺内部を観察したところ、人骨片を確認した。

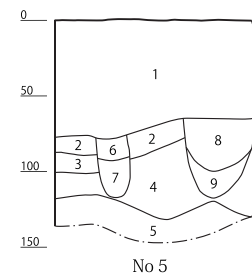
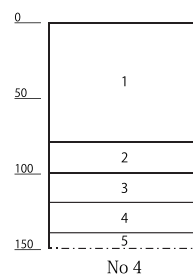
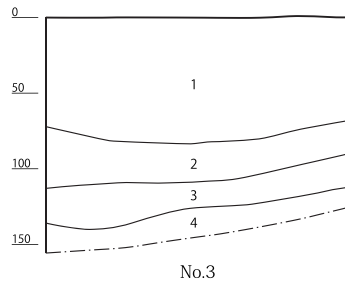
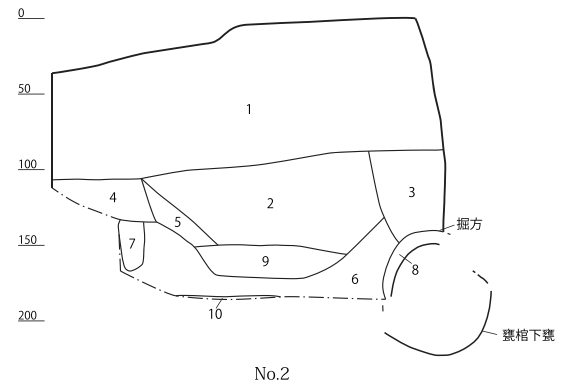
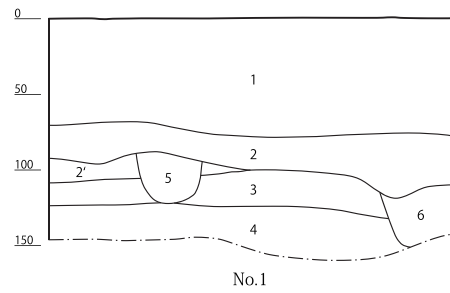
当該地は向島遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、甕棺が出土したことから、この場所は墓域であることが推定される。遺構面までは地表面より約0.9mであることから、今後の開発工事において掘削深度が遺構に影響を及ぼす場合については、本調査が必要であると判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)

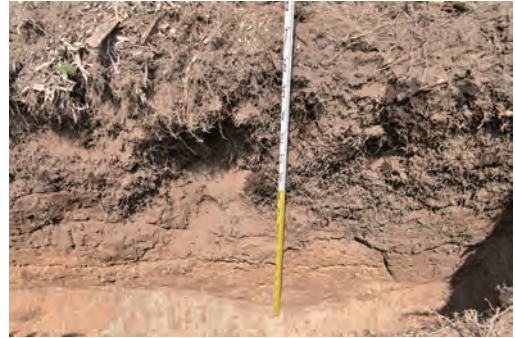


第3図 トレンチ土層断面図1 (1/50)

土層注記

トレンチ No.1・トレンチ No.3

- | | | |
|----|---------|--|
| 1層 | 黒褐色土 | やや粘質、しまりは弱い。 |
| 2層 | 暗褐色土 | しまりが強い、やや粘質。 |
| 3層 | 黄褐色粘土 | 礫を多く含む。 |
| 4層 | 黄褐色粘土 | 礫と砂を多く含む。 |
| 5層 | 暗褐色土 | しまりが強く、やや粘質。僅かな焼土粒子と白色微粒子含む。少量の砂と1～2cmの小石粒を含む。クロニガを含む。 |
| 6層 | 暗褐色土 | しまりが弱く、粘性も弱い。粒子が細かくサラサラしている。 |
| 7層 | 明暗褐色粘質土 | あまりしまらない。 |



トレンチ No.1 壁面

トレンチ No.2

- | | | |
|-----|---------|-------------------------------|
| 1層 | 黒褐色土 | やや粘質、しまりは弱い。トレンチ No.1 の1層に対応。 |
| 2層 | 褐色粘質土 | あまりしまらない。 |
| 3層 | 暗褐色粘質土 | 軟質土。ニガブロックを含む。 |
| 4層 | 暗褐色粘質土 | トレンチ No.1 の2層に対応。 |
| 5層 | 暗黄褐色粘質土 | 0.5cm程度のニガシロブロックを多く含む。 |
| 6層 | 暗褐色粘質土 | クロニガ |
| 7層 | 褐色土 | 樹痕 |
| 8層 | 暗褐色粘質土 | 甕棺の内側。 |
| 9層 | 暗黄褐色粘質土 | 5層に比べニガシロのブロック粒が少ない。 |
| 10層 | 黄褐色粘質土 | ニガシロ |



トレンチ No.2 甕棺出土状況

トレンチ No.4

- | | | |
|----|---------|-------------------------------|
| 1層 | 黒褐色土 | やや粘質、しまりは弱い。トレンチ No.1 の1層に対応。 |
| 2層 | 褐色粘質土 | キメ細かくしまりはない。 |
| 3層 | 暗褐色粘質土 | ややしまりがある。 |
| 4層 | 暗褐色粘質土 | クロニガブロックを含む。 |
| 5層 | 暗黄褐色粘質土 | クロニガ |

トレンチ No.5

- | | | |
|----|--------|-------------------------------|
| 1層 | 黒褐色土 | やや粘質、しまりは弱い。トレンチ No.1 の1層に対応。 |
| 2層 | 暗褐色粘質土 | あまりしまらない。 |
| 3層 | 明褐色粘質土 | ニガブロックを含む。 |
| 4層 | 暗褐色粘質土 | クロニガ |
| 5層 | 黄褐色粘質土 | ニガシロ |
| 6層 | 褐色粘質土 | ややしまる。 |
| 7層 | 褐色粘質土 | 6層より硬質で、ややしまる。 |
| 8層 | 暗褐色粘質土 | 軟質。しまらない。 |
| 9層 | 褐色粘質土 | しまらない。 |



トレンチ No.2 甕棺出土状況

第3図 トレンチ土層断面図2 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.4 壁面

国泰寺跡

【所在地】合志市 上庄 1-1

申請地内に3箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げ、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

当該地は、竹迫五山の一つ「青龍山 国泰寺」と伝わる中世の寺院跡であり、埋蔵文化財の包蔵地では無かったが現地に板碑も存在することから、試掘調査を実施した。

計画では、個人の所有者が駐車場を整備するにあたり、申請地が大きく削平される予定であった。

当該地は、周囲の道路より約3mの高さにあり、周辺より小高い残地である。伐採前は、竹林となっていた。その為、地表下約1mまでは、竹の根が非常に多く土層の堆積状況を確認することは困難であった。

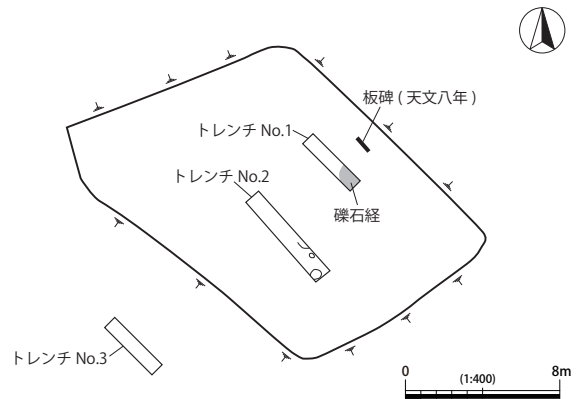
3箇所の試掘調査トレンチのうちトレンチ No.1 は、地表下約0.6mのところまで礫石経と考える遺構が確認された。また、トレンチ No.2 は、PITと溝跡と思われる遺構が確認された。トレンチ No. 3 において表土直下にローム層(7層)が確認できたことから、すでに周辺の旧地形は失われていたことが分かった。

試掘調査の結果、遺構及び遺物が確認されたことから、遺跡地図の変更を行ったうえで、令和2年に本調査を実施することとなった。

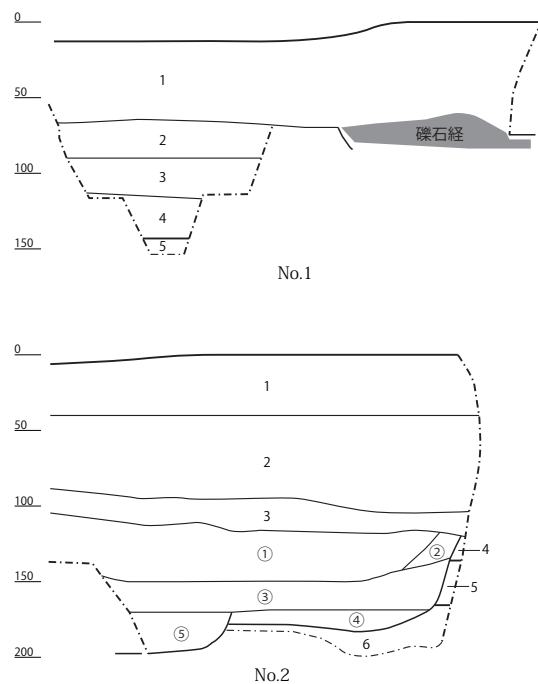
本調査では、弥生時代後期の竪穴建物跡1軒、溝状遺構1条、中世の堀1条、基壇状遺構2基が確認できた。基壇状遺構のうち1基が中世墓、もう1基が板碑の設置された遺構を確認した。中世の堀跡については、北側に存在する原口新城跡や南東側に位置する竹迫氏関連の館跡である陣内遺跡と主軸方向が一致することから、城館に伴う堀跡と考えられる。また、基壇状遺構や板碑の遺構は、中世寺院に伴う墓所であったことが判明した。



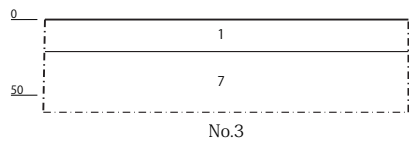
第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/400)



第3図 トレンチ土層断面図1 (1/50)



土層注記

- | | | |
|----|--------|-------------------------------|
| 1層 | 表土 | |
| 2層 | 褐色粘質土 | 竹の根が多い。 |
| 3層 | 暗褐色粘質土 | 軟質。あまりしまりはない。 |
| 4層 | 褐色粘質土 | やや硬質。ブロック混入。焼土・炭化物を含む。 |
| 5層 | 黒褐色粘質土 | 10cm程の褐色粘質土ブロックを含む。あまりしまりはない。 |
| 6層 | 明褐色粘質土 | きめ細かく、しまりがある。混入物少ない。 |
| 7層 | 黄褐色ローム | |
-
- | | | |
|----|--------|----------------------|
| ①層 | 明褐色粘質土 | 軟質。褐色ブロックを含み、しまりはない。 |
| ②層 | 明褐色粘質土 | ①層に比べややしまる。 |
| ③層 | 黒褐色粘質土 | 軟質。混入少なく、あまりしまりはない。 |
| ④層 | 褐色粘質土 | 混入少なく、あまりしまりはない。 |
| ⑤層 | 暗褐色粘質土 | 褐色ブロックを少量含む。しまりはない。 |

第3図 トレンチ土層断面図2 (1/50)



掘削作業



トレンチ No.2



トレンチ No.1 礫石経出土状況



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 壁面

須屋城跡

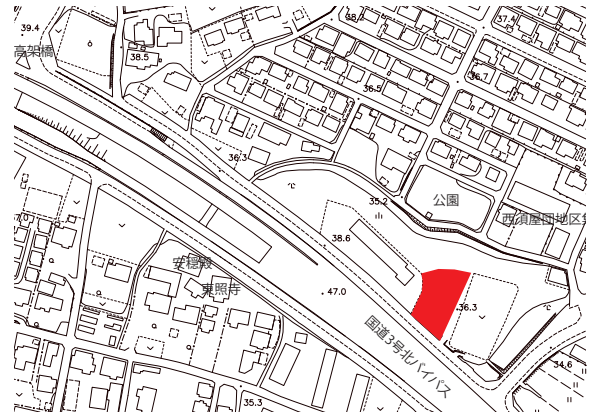
【所在地】合志市 須屋 516-1、5、6

申請地内に4箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

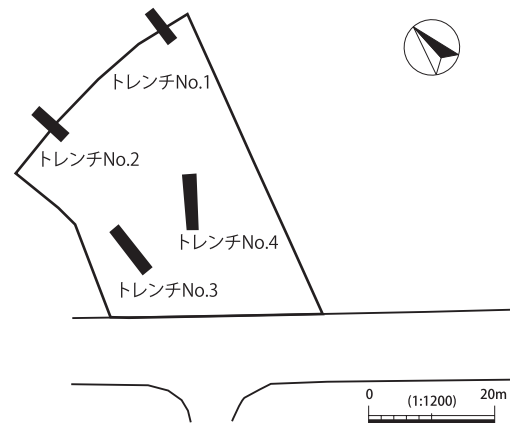
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは4箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1、2が約2.2m、No.3、4が約3m、掘削深度はトレンチNo.1が約2.1m、No.2が約2m、No.3が約1m、No.4が約1.1mとなる。

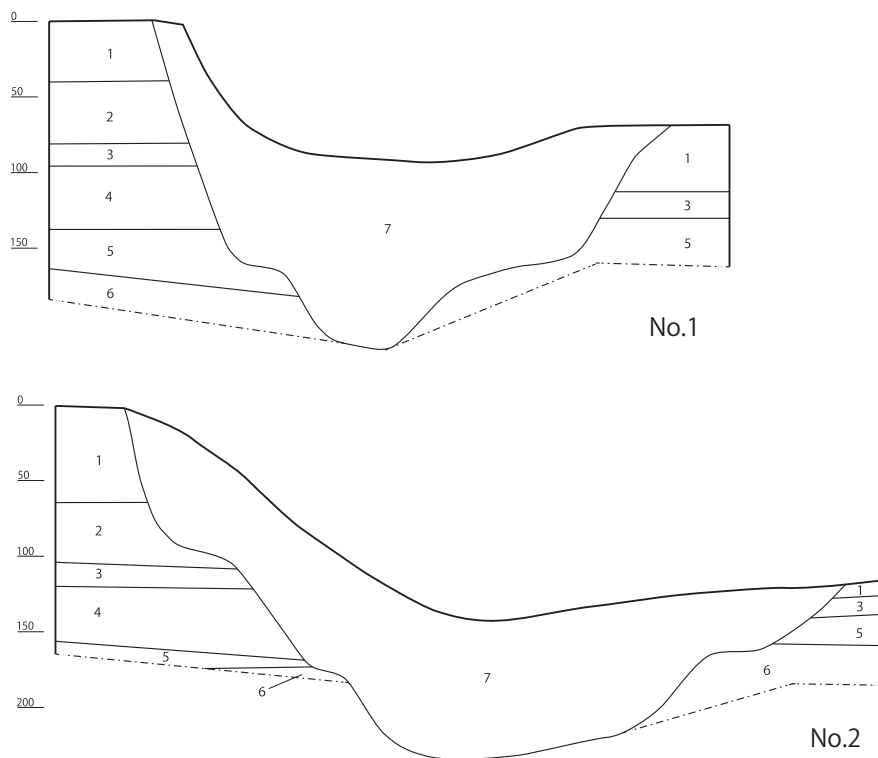
当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の調査では、トレンチNo.1とNo.2において7層の溝跡を確認した。須屋城跡の堀跡と切り合いの関係にあり、堀跡より新しい点や平面の形状のあり方、出土遺物などから近世以降の溝跡と判断した。そのうえで、この工事が影響を与える埋蔵文化財は確認できなかった。



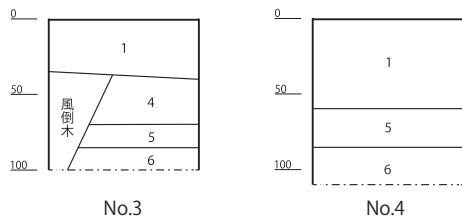
第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1200)



第3図 トレンチ土層断面図1 (1/50)



土層注記

- 1層 表土
- 2層 暗褐色粘質土 下層より粘性強く、あまりしまらない。
- 3層 褐色粘質土 軟質、クロニガのブロック混入。あまりしまらない。
- 4層 暗褐色粘質土 クロニガ
- 5層 黄褐色粘質土 ニガシロ
- 6層 黄褐色粘質土 ローム
- 7層 黒褐色粘質土 近世以降の溝？（埋蔵文化財と認定できない）

第4図 トレンチ土層断面図2 (1/50)



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 壁面



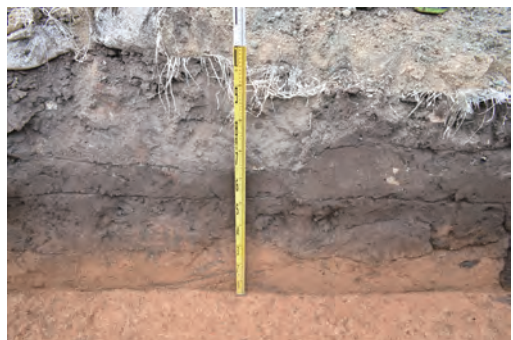
調査箇所全景



トレンチ No.3 壁面



調査箇所全景



トレンチ No.4 壁面

須屋城跡

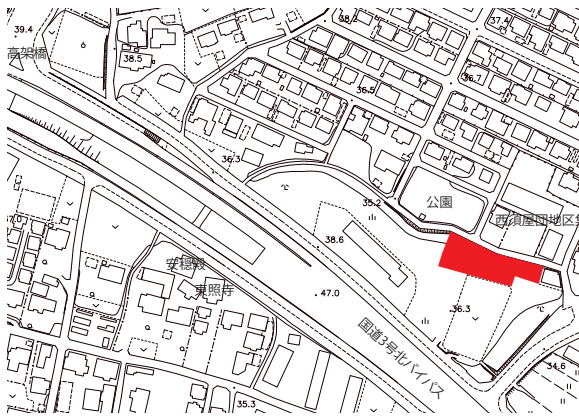
【所在地】 合志市 須屋 504-3、4

申請地内に4箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

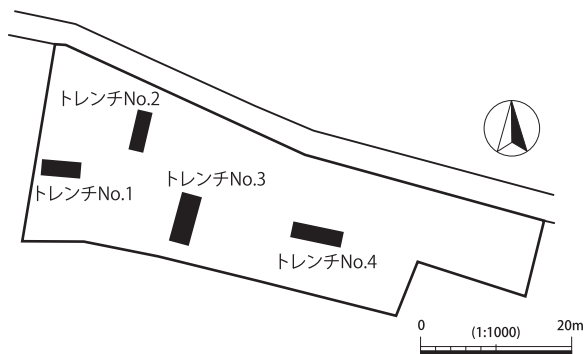
計画では、宅地造成工事を現況地盤において行う予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは4箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチ No.1、No.2が約2m、No.3が約2.5m、No.4が約3mとなる。掘削深度はトレンチ No.1とNo.3とNo.4が約1.4m、No.2が約1.6mとなる。

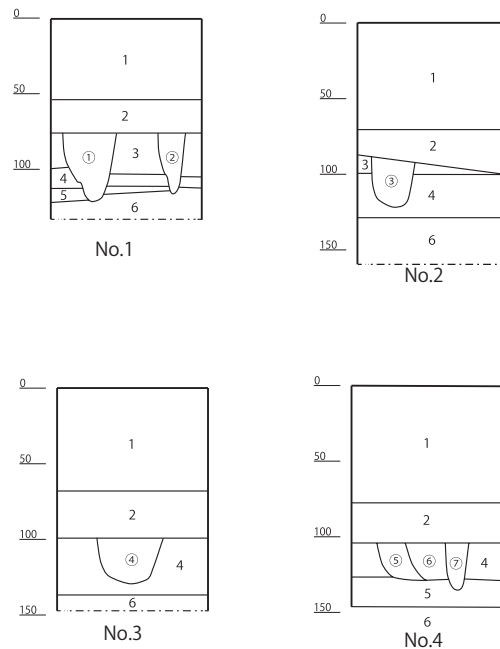
当該地は、須屋城跡の範囲内である。全てのトレンチで柱穴と考えられる遺構が確認できた。遺構の確認深度はトレンチ No.1は地表下約0.8mの3層上面、No.2は約0.9mの3層上面、No.3とNo.4は約1mの4層上面となる。また、遺物については須恵器、土師器、中世陶磁器、石鏃などが出土している。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



土層注記

- 1層 表土及び竹根による攪乱
- 2層 暗褐色粘質土 下層より粘性が強く、あまりしまらない。
- 3層 褐色粘質土 軟質、クロニガのブロック混入。あまりしまらない。
- 4層 暗褐色粘質土 クロニガ
- 5層 黄褐色粘質土 ニガシロ
- 6層 黄褐色粘質土 ローム
- ①層 褐色粘質土 ニガシロブロックを含み、あまりしまらない。
- ②層 褐色粘質土 粘性やや強く、きめ細かい土。
- ③層 暗褐色粘質土 ややしまる。
- ④層 暗褐色粘質土 ややしまる。
- ⑤層 暗褐色粘質土 クロニガブロックを含み、しまらない。
- ⑥層 褐色粘質土 ニガシロブロックを含み、しまらない。
- ⑦層 黒褐色粘質土 しまらない。

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



調査箇所全景



トレンチ No.4 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.6



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.8



トレンチ No.3 壁面



トレンチ No.8 壁面

須屋城跡

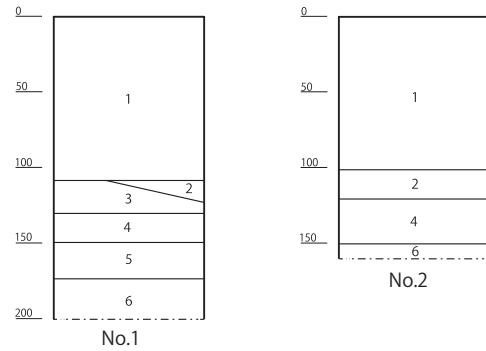
【所在地】 合志市 須屋字宮ノ前 793-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは2箇所あり、幅は約0.7mで、長さはトレンチ No.1、No.2ともに3m、掘削深度はトレンチ No.1が約2m、No.2が約1.6mとなる。

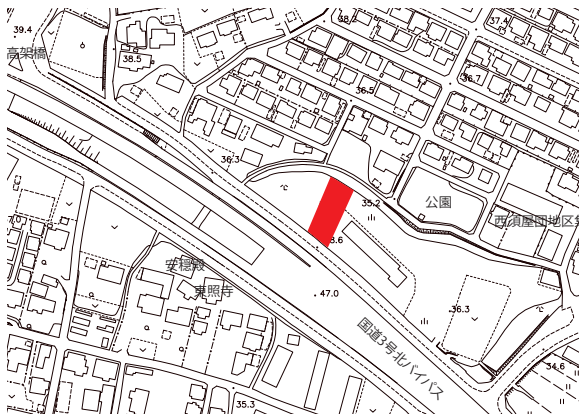
当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の調査ではトレンチ No.1 から縄文土器の破片が出土したが、遺構は確認できなかった。そのうえで、この工事が影響を与えるような埋蔵文化財は確認できなかった。



土層注記

- 1層 ロームブロックと暗褐色粘質土の混入土。(客土)
- 2層 灰黄褐色粘質土
- 3層 灰黄褐色粘質土 粘性が強く、下位に鉄分沈殿。
(旧耕田)
- 4層 灰褐色粘質土と暗褐色粘質土の混入土。(床土)
- 5層 灰褐色粘質土 4層よりしまりが弱い。
- 6層 灰黄褐色粘質土 水的作用により変色。

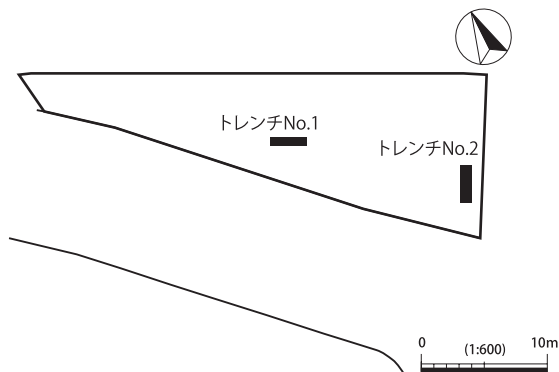
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/600)



トレンチ No.1 壁面

陣ノ内遺跡

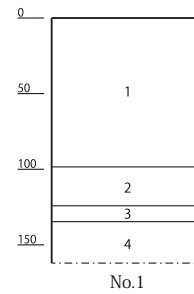
【所在地】 合志市 幾久富 陣ノ内 1315 - 3

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m で、長さ約 2 m、地表下約 1.6 m で、土層の堆積状況は地表下約 1 m までが客土で、その下に 2 層の暗灰褐色粘質土、3 層の褐色粘質土、4 層の黄褐色粘質土（ローム）が順に堆積する。

当該地は陣ノ内遺跡の範囲内ではあるが、今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



土層注記

- 1層 客土
- 2層 暗褐色粘質土 ローム粒含む。
- 3層 暗灰褐色粘質土 粘性が強い。
- 4層 黄褐色粘質土 ローム

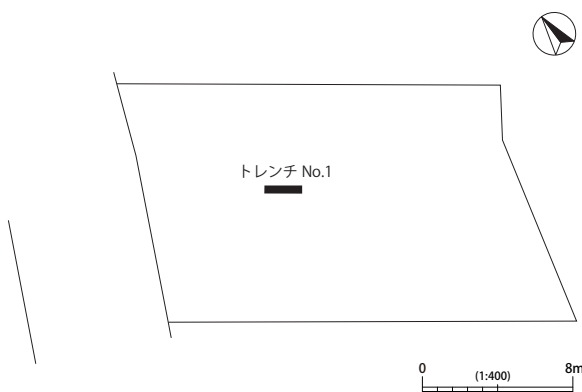
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/400)



トレンチ No.1 壁面

向島遺跡

【所在地】合志市 須屋 1047-1、1048

申請地内に4箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

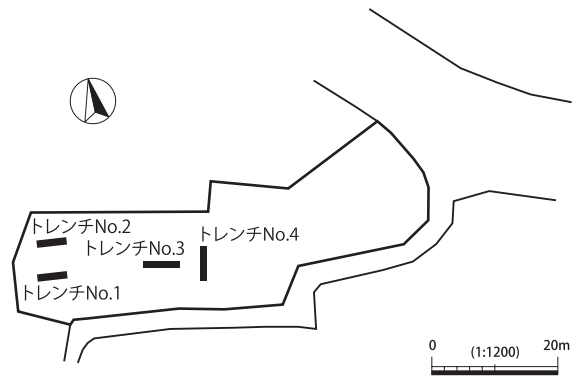
確認調査トレンチは4箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1、3が約5m、No.2、4が約4mとなる。掘削深度はトレンチNo.1が約1.7m、No.2が約1.3m、No.3が約2m、No.4が約1.8mとなる。

当該地は、向島遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、青磁と陶磁器の破片が出土したが、遺構は確認できなかった。そのうえで、この工事が影響を与えるような埋蔵文化財は確認できなかった。

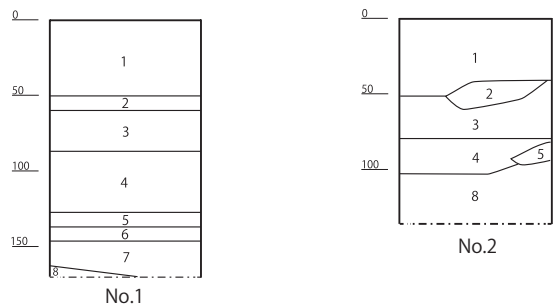
トレンチNo.3では、5層下位に砂礫層が確認され流路跡ではないかと考えた。周辺には、当該地の北西に妙泉寺公園の池が存在し、かつて「宮ノ前」、「前田」にあった田を潤していた。また、三ツ石駅の東側を流れる「迫ん川」は、須屋駅東側の道路暗渠となっている。この「迫ん川」は、かつて熊本電鉄の路線に沿って流れていた。



第1図 地形図 (1/5000)

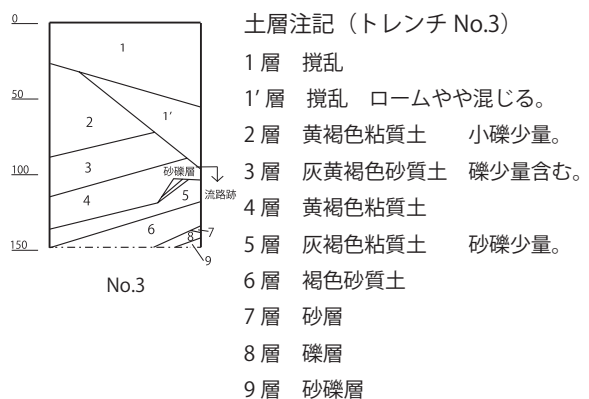


第2図 トレンチ位置図 (1/1200)



土層注記 (トレンチ No.1・No.2)

- 1層 表土 黒褐色土
- 2層 暗褐色土 やや粘性あり、しまりがあり2～15cmのブロック状のニガシロを多く含む。0.5～2cmの小石粒を少量含む。
- 3層 黄褐色土 やや粘性あり、しまりがあり0.5～1cmの小石粒を多く含む。
- 4層 褐色土 やや粘性あり、しまりがあり、0.5～1cmの小石粒を多く含む。1～3cmのブロック状のニガシロを少量含む。
- 5層 砂質の褐色土 4層の土に多量の砂を含む。
- 6層 明黄褐色粘質土 粘性が強く、しまりが弱い。砂、小石粒は含まない。
- 7層 黒褐色土 粘性がやや強く、しまりが強い。8層の土を少量含む。
- 8層 黄褐色土 粘性が強く、しまりが弱い。3層より明るく6層より暗い。



第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面



調査箇所全景



トレンチ No.3 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.4 壁面



トレンチ No.2



トレンチ No.4 壁面

第4節 令和2年度の調査

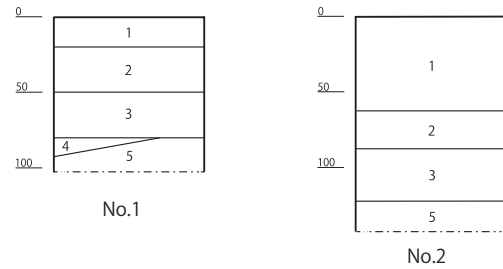
須屋城跡

【所在地】合志市 須屋 503-1、507-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、分譲住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。確認調査トレンチは2箇所あり、幅は約0.7mで、長さはトレンチNo.1が約0.8m、No.2が約1.2mとなる。掘削深度はトレンチNo.1が約1m、トレンチNo.2が約1.4mとなる。

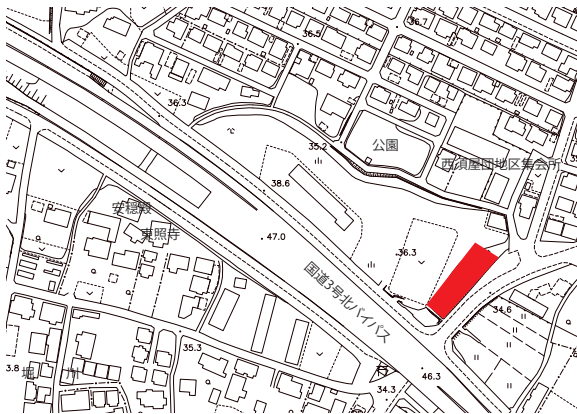
当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の確認調査では縄文土器の破片が出土したが、遺構は確認できなかった。そのうえで、この工事が埋蔵文化財に影響を与えることはない判断した。



土層注記

- 1層 表土
- 2層 暗褐色粘質土 粘性やや強い。
- 3層 暗褐色粘質土 クロニガを含み、しまりがない。
- 4層 暗黄褐色粘質土 ニガシロを含む。
- 5層 黄褐色粘質土 ニガシロに対応。

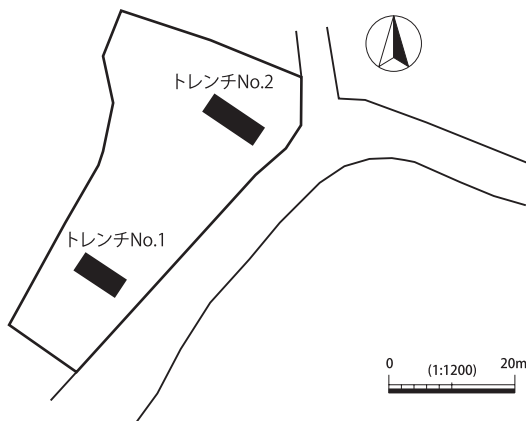
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1200)



トレンチ No.1 壁面

江良遺跡

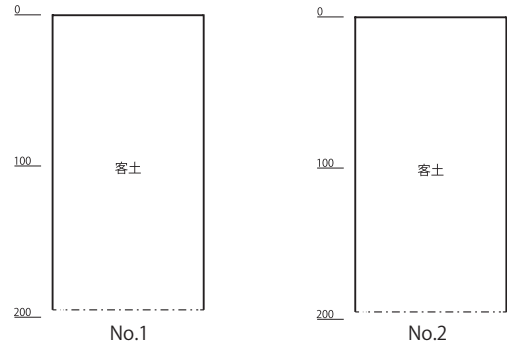
【所在地】合志市 合生 1367-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅の駐車場を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1、No.2 とも幅は約 0.8m で長さはトレンチ No.1 が約 5.5 m、No.2 が約 4.5 m、掘削深度は No.1、No.2 とも約 1.9 m となる。

当該地は、江良遺跡の範囲内である。今回の確認調査時に近隣住民の方から、3 m 程度埋め立てを行ったと聞いており、南東方向に延びる谷がかつてあったことが確認できたことは、今回の確認調査における客土の状況が裏付ける結果となった。また遺物の出土は無かった。



第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



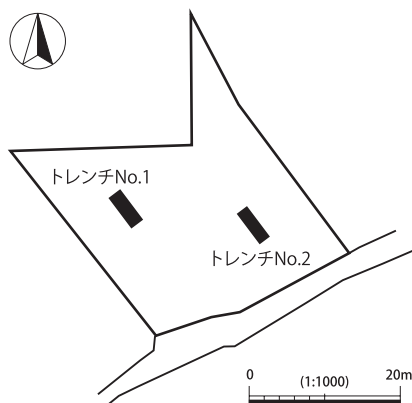
調査箇所全景



第1図 地形図 (1/5000)



トレンチ No.1 壁面



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.2 壁面

原口新城跡

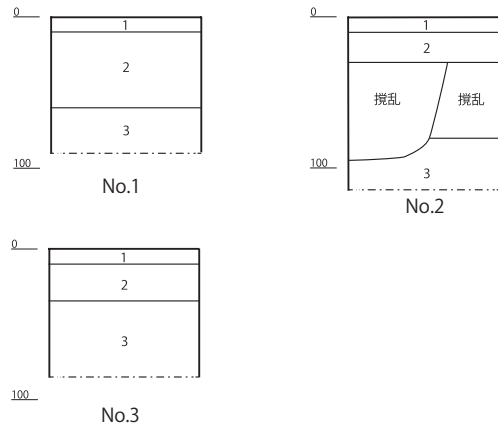
【所在地】 合志市 豊岡 228-3

申請地内に3箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1が約1.8m、No.2が約2m、No.3が約1.2m、掘削深度はトレンチNo.1、No.3が約0.9m、No.2が約1.2mとなる。

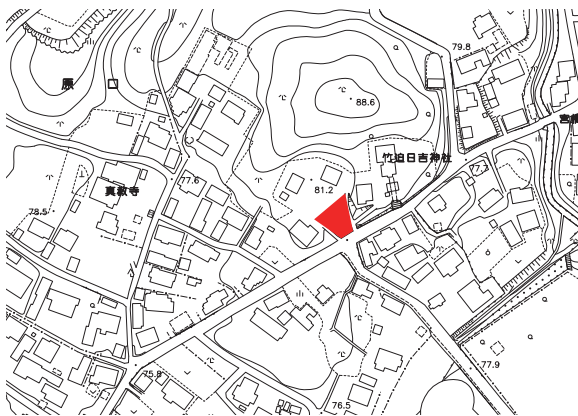
当該地は、原口新城跡の範囲内ではあるが、既に約1mの削平を受け、以前の建築物の廃材の攪乱が確認された。また、遺構、遺物はともに確認できなかった。



土層注記

- 1層 バラス
- 2層 黒褐色 攪乱
- 3層 黄褐色粘質土 ローム

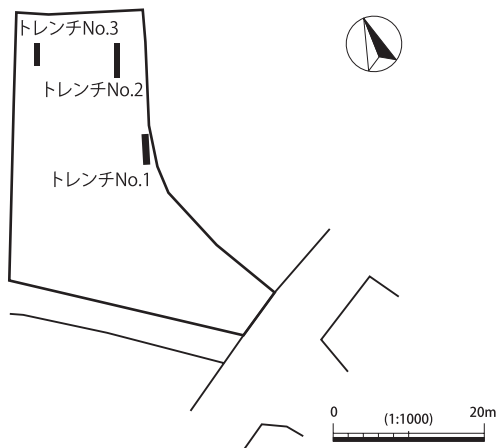
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.3 壁面

宿の山遺跡

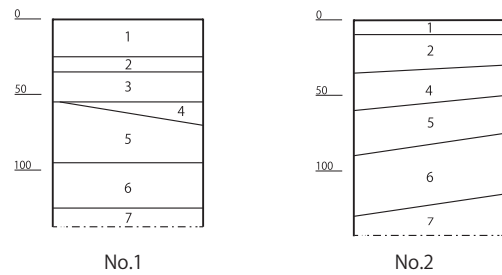
【所在地】 合志市 須屋 1942-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは幅は約0.7mで、長さはトレンチ No.1 が5.2m、No.2 が3.3m、掘削深度はトレンチ No.1 が約1.3m、トレンチ No.2 が約1.4mとなる。

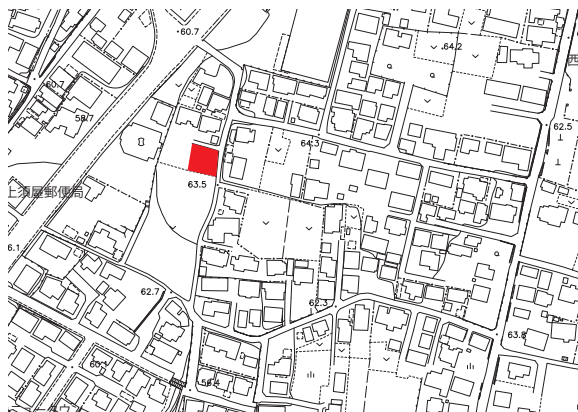
当該地は、宿の山原遺跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



土層注記

- 1層 表土
- 2層 黒褐色粘質土 3層混入
- 3層 暗褐色粘質土 やや軟質でありあまりしまらない。
- 4層 暗褐色粘質土 ややしまる。混入物なし。
- 5層 暗褐色粘質土 キメ細かく、やや硬質。しまりあり。炭化物 0.5mm、白色粒 0.5mmを含む。
- 6層 黒褐色粘質土 クロニガ
- 7層 黄褐色粘質土 ニガシロ

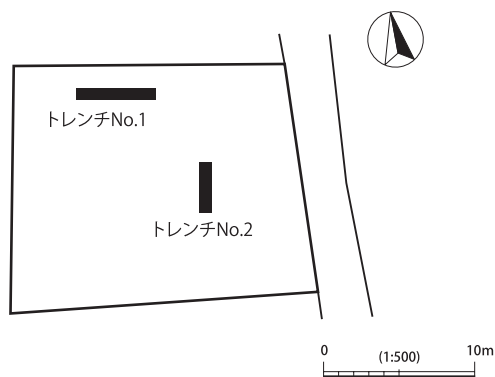
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



トレンチ No.2 壁面

船入遺跡

【所在地】合志市 須屋 439-1、5

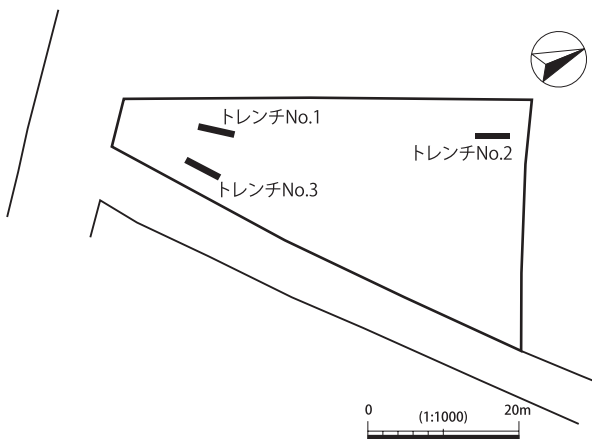
申請地内に3箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、分譲住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。確認調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さが約5m、掘削深度は、トレンチNo.1とNo.3が約1.5m、No.2が約1.35mとなる。

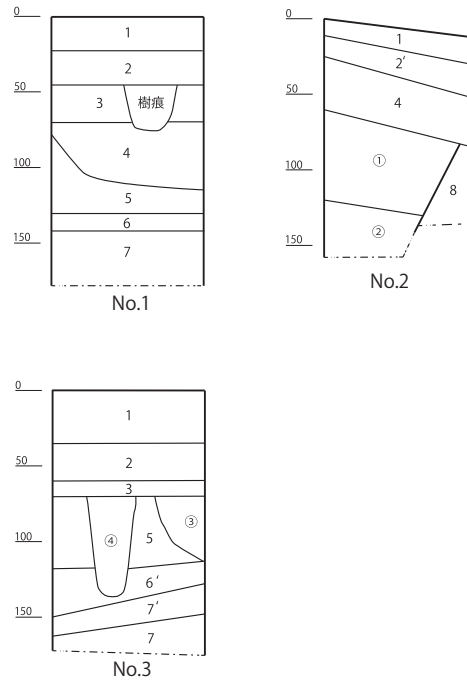
当該地は、船入遺跡の範囲内である。今回の確認調査においてトレンチNo.2の遺構面は、地表下約0.7mの8層、No.3の遺構面は地表下約0.6mの5層である。確認された遺構は柱穴、溝跡、土坑とみられ、平成28年に発掘調査された北東側の遺構と関連するものと推測する。今回の工事は、地表下約0.5mまでの抜根による掘削の後、約0.2mの盛土を施すことから、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



土層注記

- | | | |
|-----|--------|---------------------------------|
| 1層 | 表土 | |
| 2層 | 暗褐色粘質土 | しまりはある。やや粘性がある。 |
| 3層 | 暗褐色粘質土 | 2層よりしまりは強い。やや粘性がある。 |
| 4層 | 黒褐色粘質土 | 3層よりしまりは強い。やや粘性がある。黄褐色粒をわずかに含む。 |
| 5層 | 暗褐色粘質土 | しまりがあり、粘性が強い。 |
| 6層 | 明褐色粘質土 | 5層と7層の混合。 |
| 6'層 | 黄褐色粘質土 | 粘性弱い。ブロック状の黄褐色粘質土 2～5cm を含む。 |
| 7'層 | 黄褐色粘質土 | ブロック状の黄褐色粘質土 約5～10cm を多く含む。 |
| 7層 | 黄褐色粘質土 | ニガシロ |
| 8層 | 黄褐色粘質土 | 砂礫を多く含み、約1～2cmの小石を少量含む。 |

遺構埋土

- | | | |
|----|--------|----------------------|
| ①層 | 暗褐色粘質土 | 約3～10cmのクロニガブロックを含む。 |
| ②層 | 暗褐色粘質土 | ※①・②層は溝の埋土。 |
| ③層 | 黒褐色粘質土 | 4層に類似。 |
| ④層 | 黒褐色粘質土 | 柱穴 |

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.3 壁面



トレンチ No.1



トレンチ No.3



トレンチ No.1 壁面



抜根作業

須屋城跡

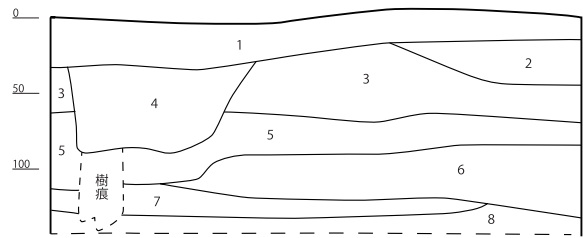
【所在地】 合志市 須屋 511-1

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、分譲住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは幅が約0.7mで、長さが約4m、掘削深度は約1.1mとなる。

当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の確認調査では、時期不明の溝のような落ち込みが確認できたが、埋蔵文化財とは認定できなかった。

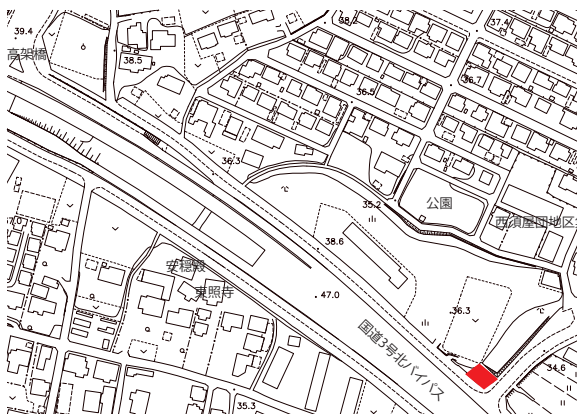


No.1

土層注記

- 1層 表土
- 2層 黒褐色粘質土 しまりは弱い。
- 3層 黒褐色粘質土 2層より明るい、しまりは弱い。
- 4層 黒褐色粘質土 3層よりやや暗く、しまりは強い。
(埋蔵文化財とは認定できない)
- 5層 黒褐色粘質土 3～10cm程度のブロックをやや多く含み、しまりがある。
- 6層 黒褐色粘質土 クロニガ
- 7層 褐色粘質土 ニガシロが混入する。
- 8層 黄褐色粘質土 ニガシロ

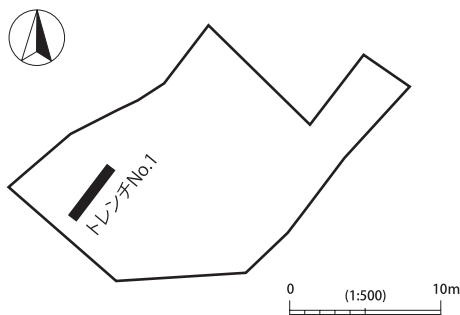
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



トレンチ No.1 壁面

小合志原遺跡

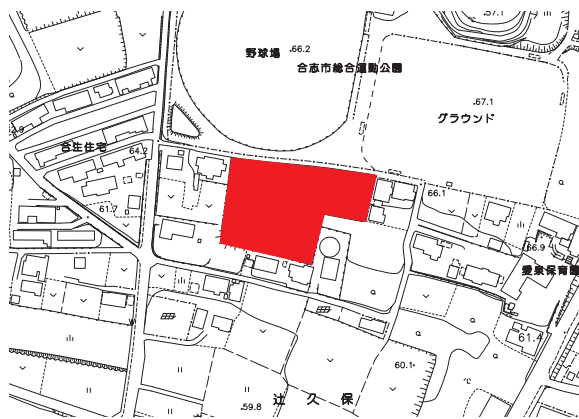
【住所】 合志市 合生 3850

申請地内に5箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

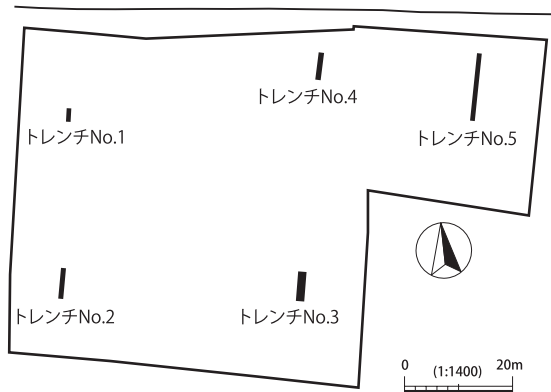
計画では、グラウンドを現況地盤に造成工事する予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは5箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1が約1m、No.2、3、4が約2m、No.5が約4m、掘削深度はトレンチNo.1が約0.7m、No.2が約1.3m、No.3が約1.1m、No.4が約1.2m、No.5が約1.1mとなる。

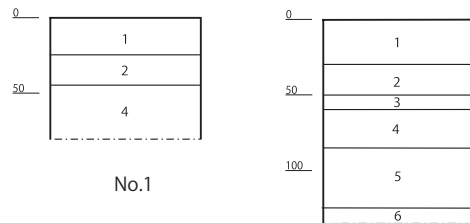
当該地は、小合志原遺跡の範囲内である。今回の確認調査においてトレンチNo.4は地表下約0.8mの7層で溝が検出された。また、遺物はトレンチNo.3とNo.5で出土したが、工事内容も含め、遺構面までは掘削が及ばないため、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



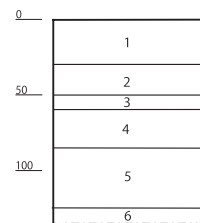
第1図 地形図 (1/5000)



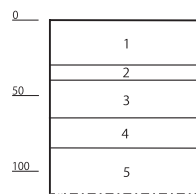
第2図 トレンチ位置図 (1/1400)



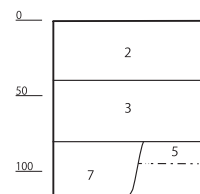
No.1



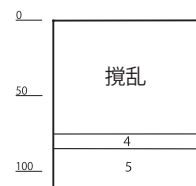
No.2



No.3



No.4



No.5

土層注記

- 1層 耕作土
- 2層 暗褐色粘質土 しまりあり、2～5cmのニガブロックを含む。
- 3層 褐色粘質土 2層よりしまり弱く、やや粘性が強い。(遺物包含層)
- 4層 暗褐色粘質土 しまりがあり、やや粘性が強い。
- 5層 褐色粘質土 しまりが強く、粘性が強い。ニガシロ
- 6層 黄褐色粘質土 5層よりさらにしまる。ニガシロ
- 7層 黒褐色粘質土 黄褐色粒子を含み、しまりは無い。(溝埋土)

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.3 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.4 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.5 壁面

第5節 令和3年度の調査 御領遺跡

【所在地】合志市 福原 2312-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを人力により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

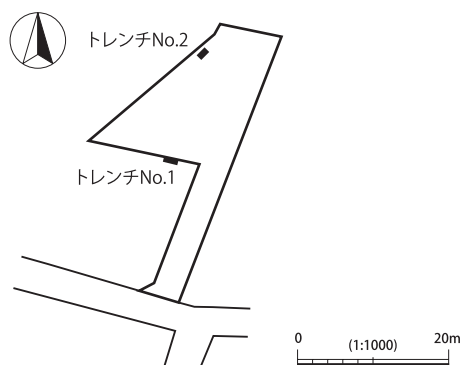
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は長さ約 2 m、No.2 は約 1.5 m、掘削深度はトレンチ No.1 の最も深い部分で約 1.5 m、No.2 が約 0.9m となる。土層の堆積状況は表土下の 2 層の暗褐色粘質土、3 層のニガシロ、4 層の黄褐色粘質土（ローム）が順に堆積する。

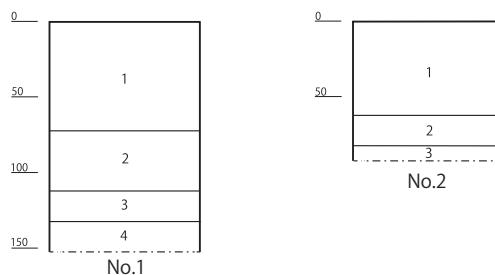
当該地は、御領遺跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



土層注記

- 1層 表土 (バラス)
- 2層 暗褐色粘質土 しまりは強く、やや粘性がある。
- 3層 ニガシロ
- 4層 ローム

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 壁面

宿の山遺跡

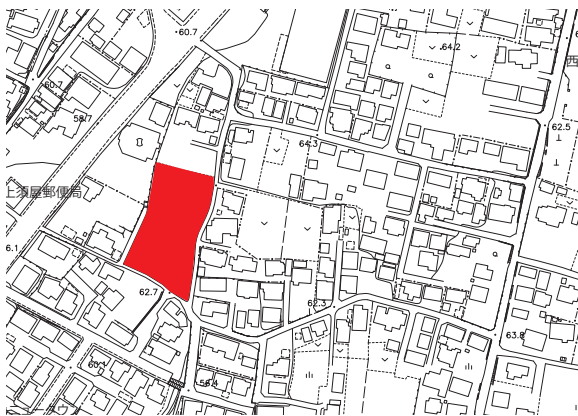
【所在地】 合志市 須屋 1976-1

申請地内に5箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

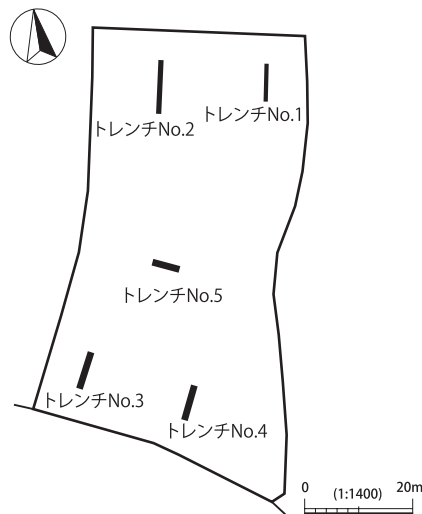
計画では、駐車場造成を現況地盤に行う予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは5箇所あり、幅は全て約0.7mで、掘削深度はトレンチ No.1 が約1.2 m、No.2 が約1.4 m、No.3 と No.4 が約1.3 m、No.5 が約1 mとなる。

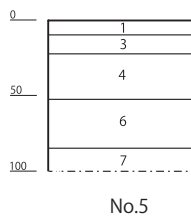
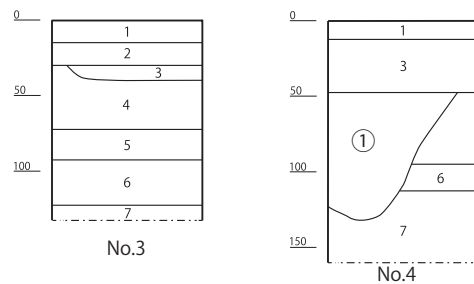
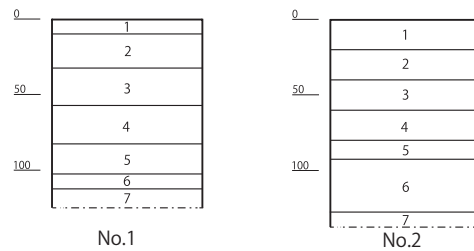
当該地は、宿の山遺跡の範囲内である。トレンチ No.3 と No.4 から遺物が出土した。トレンチ No.4 の地表下約0.4mの4層上面において遺構が確認できた。しかし、工事内容も含め、遺構面までは掘削が及ばないため、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1400)



土層注記

- 1層 表土
- 2層 黒褐色粘質土 3層混入。
- 3層 暗褐色粘質土 やや軟質でありしまらない。
- 4層 暗褐色粘質土 ややしまる。混入物なし。
- 5層 暗褐色粘質土 キメ細かく、やや硬質。しまりあり。
炭化物粒0.5cm、白色粒0.5cmを含む。
- 6層 黒褐色粘質土 クロニガ
- 7層 黄褐色粘質土 ニガシロ
- ①層 暗褐色粘質土 ニガシロのブロックを含み、
しまりが無い。

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.3 壁面



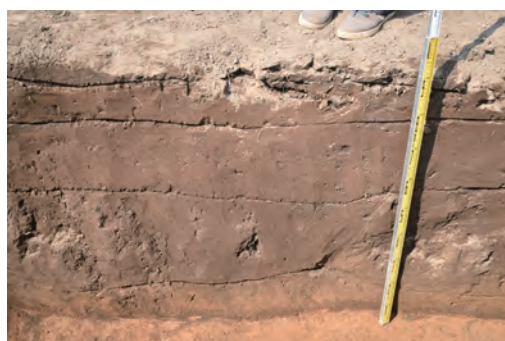
トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.4 壁面



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.5 壁面

須屋城跡

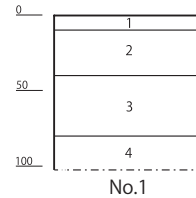
【所在地】合志市 須屋 531-1、532-2

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、宅地造成工事を現況地盤に行う予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは幅約0.7m、長さは約5.3m、掘削深度は約1mとなる。

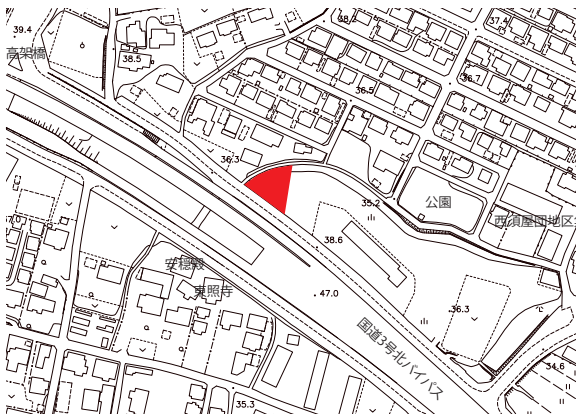
当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。また平成29年に行った隣接地の確認調査において、遺構の確認をしていたこともあり、擁壁掘削工事を行う際は工事立会が望ましいと判断した。



土層注記

- 1層 表土
- 2層 黒褐色粘質土
- 3層 クロニガ
- 4層 ニガシロ

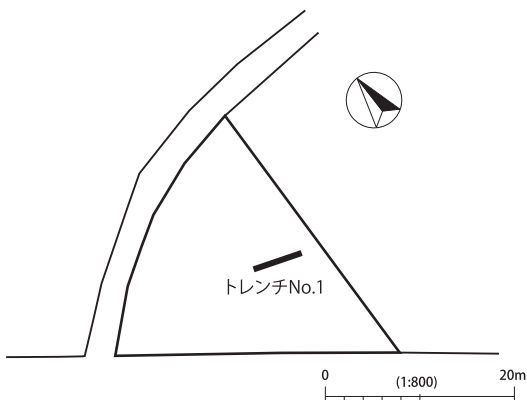
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/800)



トレンチ No.1 壁面

御領遺跡

【所在地】合志市 福原 2279-3、2279-6

申請地内に3箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

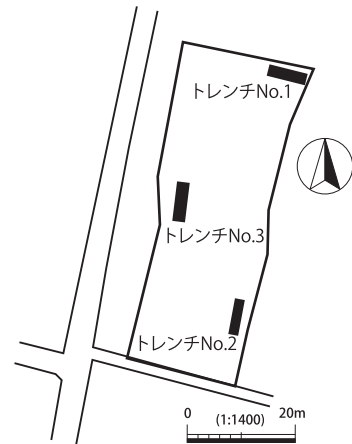
確認調査トレンチは3箇所あり、掘削深度はトレンチ No.1 が約 2.8 m、No.2 が約 3.2 m、No.3 が約 0.6m となる。

当該地は、御領遺跡の範囲内である。この場所は既に 2 m 程度削平を受け畑地となっている。今回の確認調査では法面を利用し、土層堆積状況の確認を行った。その結果、遺構は確認できなかったが遺物包含層は確認できた。トレンチ No.1 において、地表下約 2 m の 3 層とトレンチ No.2 から弥生土器の破片が出土した。

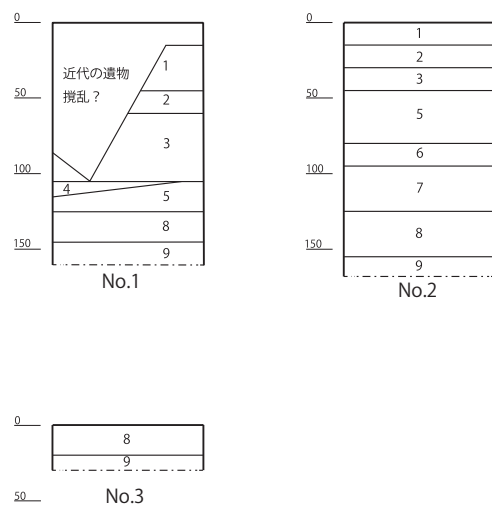
今回の工事は、既に削平を受けている畑地の箇所が主体で、遺物包含層が確認された法面において、逆L字擁壁を設置する為、奥行約 2 m、深度約 3 m の掘削が予定されている。しかし、範囲が狭小なため、工事立会が望ましいと判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1400)



土層注記 (トレンチ No.1 北壁面)

- 1層 明褐色粘質土 橙色粒を多く含み、硬質。
- 2層 暗褐色粘質土 橙色粒を含み、しまりが無い。
- 3層 黒褐色粘質土 キメ細かく、混入が少ない。ややしまる。
- 4層 暗褐色粘質土 キメ細かく、あまりしまらない。
弥生時代の遺物包含層。
- 5層 褐色粘質土 やや硬質でややしまる。部分的に硬質。
- 8層 黒褐色土 耕作土
- 9層 ローム

第3図 トレンチ土層断面図1 (1/50)

土層注記(トレンチ No.2 東壁面)

- 1層 暗褐色粘質土
- 2層 暗褐色粘質土 やや粘性あり、しまりがあり2～15cmのブロック状のニガシロを多く含む。0.5～2cmの小石粒を少量含む。
- 3層 黒褐色粘質土 やや粘性あり、しまりがあり0.5～1cmの小石粒を多く含む。
- 5層 暗褐色粘質土 わずかにクロニガ混入、ややしまる。
- 6層 明褐色粘質土 上層の混入、ニガシロに対応。
- 7層 明褐色粘質土 ニガシロ
- 8層 耕作土
- 9層 黄褐色粘質土 ローム

土層注記(トレンチ No.3 西壁面)

- 8層 耕作土
- 9層 黄褐色粘質土 ローム

第4図 トレンチ土層断面図2(1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.3 壁面

野付遺跡隣接地

【所在地】合志市 竹迫 1882 - 1、1883 - 1

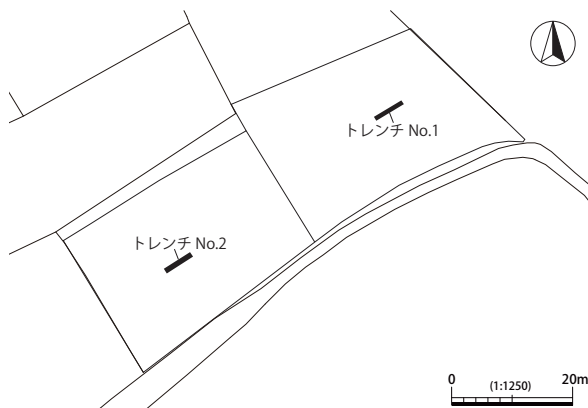
申請地内に2箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。計画では個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチは2箇所あり、トレンチ No.1、2ともに幅は約0.7mで、長さは約5m、掘削深度はトレンチ No.1が約1.3m、No.2が約1.4mとなる。土層堆積状況はトレンチ No.1の1層（耕作土）、2層の暗褐色土、3層の黄褐色粘質土（ローム）の順に堆積する。トレンチ No.2は1層（耕作土）、2層の暗褐色土、3層の黒褐色土、4層の黄褐色土、5層の暗黄褐色土、6層の黄褐色粘質土（ローム）の順に堆積する。トレンチ No.2の3層上面から掘り込まれた痕跡は、耕作時に伴うものとみられる。

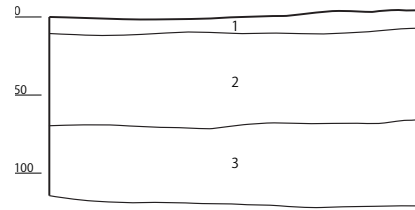
今回の試掘調査は、開発箇所が野付遺跡から50m以内の隣接地であるとともに、開発面積が5000㎡を超える為に行った。試掘調査の結果、遺構、遺物はともに確認できなかった。



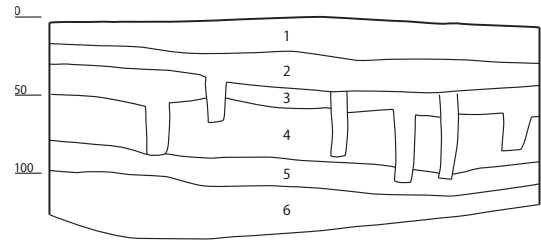
第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1250)



No.1



No.2

土層注記

トレンチ No.1

- 1層 耕作土
 - 2層 暗褐色土
 - 3層 黄褐色粘質土
- しまりが強い。0.1～0.2cmの橙色粒をやや多く含む。
しまりがある。0.1～0.5cmの橙色粒を少量含む。トレンチ No.2の6層より粘度が高くベタベタしている。キメ細かい。

トレンチ No.2

- 1層 耕作土
 - 2層 暗褐色土
 - 3層 黒褐色土
 - 4層 黄褐色土
 - 5層 暗黄褐色土
 - 6層 黄褐色粘質土
- しまりが強い。0.1～0.2cmの橙色粒をやや多く含む。しまりがある。0.1～0.2cmの橙色粒を少量含む。0.1～0.2cmの炭化物の粒子を微量含む。縦方向の幅10cm程のPit?がある。
やや赤みを帯びている。しまりがある。0.1～0.2cmの橙色粒をやや多く含む。やや粘質。
4層に比べてやや暗い色をしている。しまりがあり、4層より粘度は低い。0.1～0.2cmの橙色粒を少量含む。
4層よりしまりは弱い。

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面

笹山遺跡

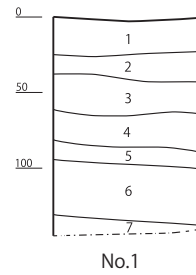
【所在地】 合志市 御代志 713-13

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、施設の増築を行う予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチの掘削深度は約1.2mとなる。

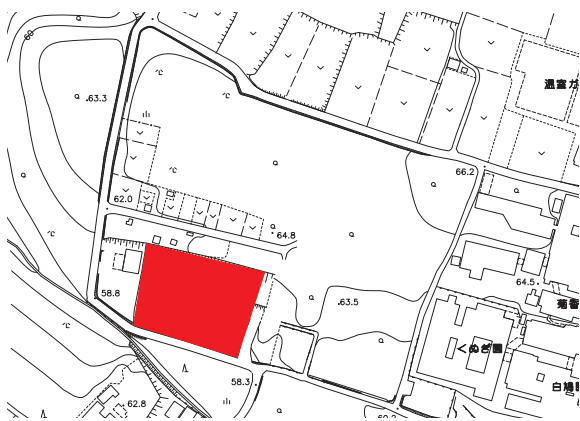
当該地は、笹山遺跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかったため、この工事が埋蔵文化財への影響はないと判断した。



土層注記

- 1層 表土
- 2層 攪乱
- 3層 黄褐色粘質土 ローム混入。
- 4層 黒褐色砂礫層 しまりがない、0.5cm程度の白色粒子が含まれる。
- 5層 明褐色砂礫層 4層よりややしまる。0.5cm程度の褐色粒子が含まれる。
- 6層 暗褐色砂礫層 5層よりしまりがない。0.3cm程度の白色粒子が含まれる。
- 7層 暗褐色砂礫層 6層よりしまりがない。0.2～0.3cm程度の白色粒子が含まれる。

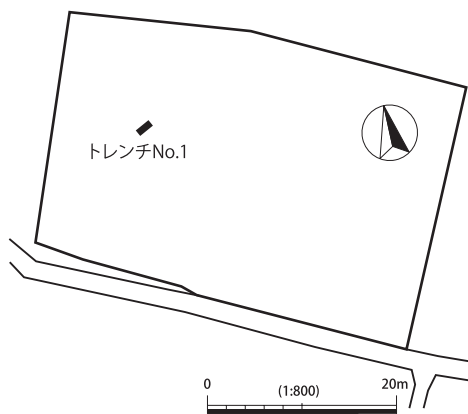
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/800)



トレンチ No.1 壁面

木瀬遺跡

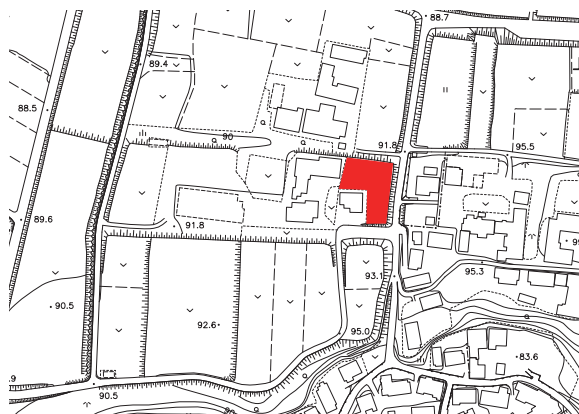
【所在地】合志市 上庄字出口 1472-5

申請地内に3箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

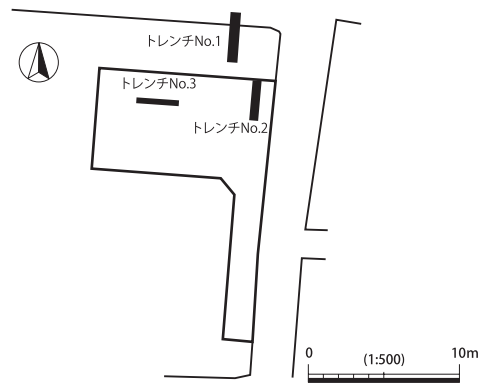
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1で約6m、No.2とNo.3で約5.5m、掘削深度はトレンチNo.1で約2.4m、No.2で約1.7m、No.3で約1.8mとなる。

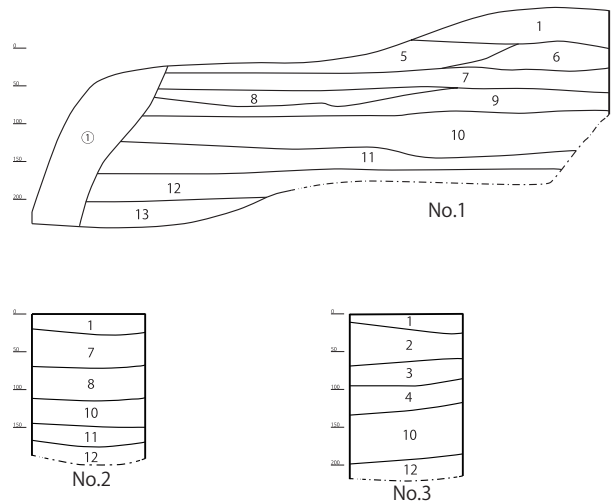
当該地は、木瀬遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、トレンチNo.1において竹迫城惣構の堀跡と遺物が確認できたが、堀跡は工事の範囲外になるため、この工事が、埋蔵文化財への影響はないと判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



土層注記

- | | | |
|-----|--------|--|
| 1層 | 耕作土 | |
| 2層 | 褐色土 | 攪乱 |
| 3層 | 黄褐色混入土 | 攪乱 |
| 4層 | 暗褐色土 | 攪乱 |
| 5層 | 暗褐色土 | しまりは弱い。0.1cm程度の黄褐色粒を微量に含む。粘性は低い。 |
| 6層 | 黒褐色土 | しまりはやや強い。0.1～0.5cmの黄褐色粒をやや含む。粘性は低い。 |
| 7層 | 黒褐色土 | 2層よりしまりは強い。0.1～1cm程度の黄褐色粒を多く含む、それらが5～10cmの帯状に集まっている部分が数箇所ある。粘性は低い。 |
| 8層 | 黒褐色土 | しまりはやや弱い。粘性はやや高い。 |
| 9層 | 黒褐色土 | しまりはやや強い。10～20cmのやや硬質の塊を数箇所多く含む。7層より暗い色をしている。粘性はやや高い。 |
| 10層 | 黒褐色土 | しまりは7層より強い。10～20cmのやや硬質の塊を数箇所含む。7層より暗い色をしている。粘性はやや低い。 |
| 11層 | 黒褐色土 | しまりと粘性は8層と同程度。 |
| 12層 | 黒褐色土 | しまりは8層・9層より強い。5～15cmのニガブロックを多く含む。0.05～0.1cmの黄褐色粒を少量含む。 |
| 13層 | 黒褐色土 | クロニガ |
| ①層 | 暗褐色土 | あまりしまらない。(堀跡) |

第3図 トレンチ土層断面図 (1/100)



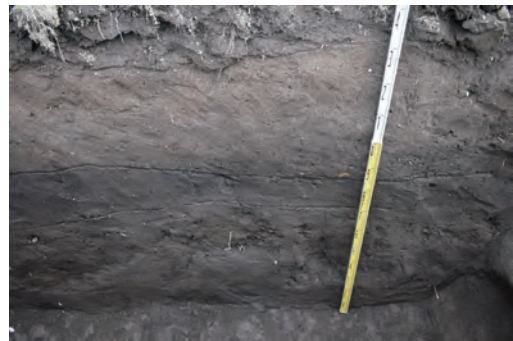
調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.3 壁面



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.3 壁面

小園遺跡

【所在地】合志市 豊岡 135-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

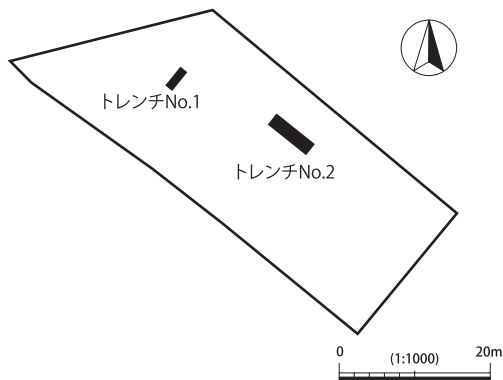
計画では、宅地造成工事を現況地盤に行う予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは幅約0.7m、長さはトレンチNo.1が約3m、No.2が約6.5m、掘削深度はトレンチNo.1、No.2ともに、約1.7mとなる。

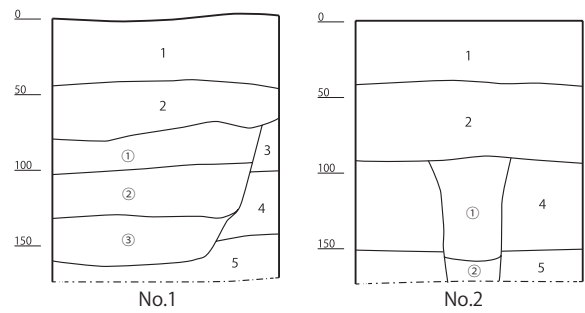
当該地は、小園遺跡の範囲内である。今回の確認調査ではトレンチNo.1において縄文後期の土器片が出土し、地表下約0.7mの3層上面で弥生時代以降の溝が検出された。また、トレンチNo.2では、縄文土器の破片と地表下約0.9mの4層上面でPITが1基確認された。そのうえで、道路側の擁壁工事を伴うことと、遺構面までは掘削が及ばないため、工事立会が望ましいと判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



土層注記

- 1層 表土
- 2層 明褐色粘質土 ニガのブロックを少量含み、あまりしまりはない。軟質。
- 3層 褐色粘質土
- 4層 クロニガ
- 5層 ニガシロ

溝の埋土

- ①層 明褐色粘質土 ローム粒を含み、あまりしまりはない。
- ②層 暗褐色粘質土 しまりはない。鉄滓出土。
- ③層 褐色粘質土 キメが細かくザラザラした質感である。

Pitの埋土

- ①層 暗褐色粘質土 しまりはない。
- ②層 黄灰褐色粘質土 しまりはない。

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.1 壁面

御手洗遺跡

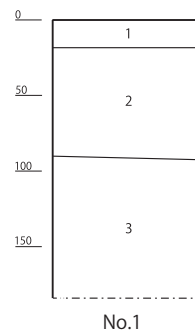
【所在地】 合志市 幾久富字村廻 1054-2

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは幅約0.7mで、長さは約5m、掘削深度は約1.8mとなる。土層の堆積状況は表土下の2層において、黄褐色粘質土（ローム）が主体となる層であったが、その下の3層は、ゴミが混入した灰色粘質土が堆積していたことから、攪乱と判断した。

当該地は、御手洗遺跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



土層注記

- 1層 表土
- 2層 ローム層
- 3層 灰色粘質土 ゴミが出土

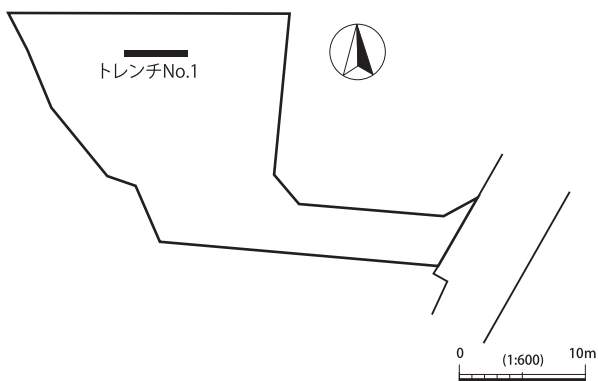
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/600)



トレンチ No.1 壁面

小合志原遺跡隣接地

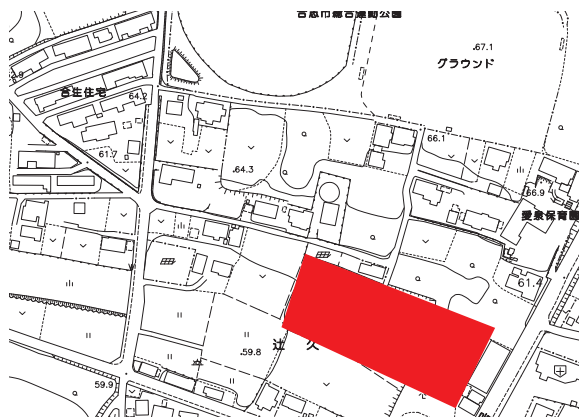
【所在地】 合志市 合生字辻原 3847、3946、
3953-1

申請地内に3箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

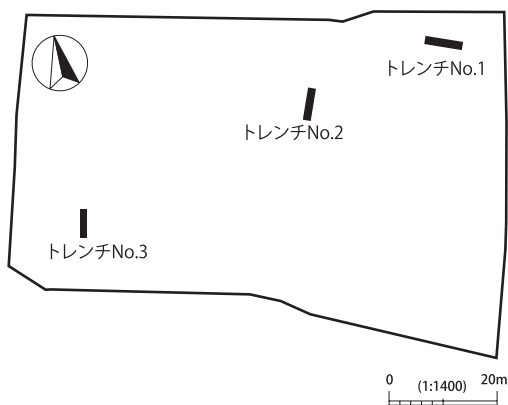
計画では、分譲住宅を現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1が約7m、No.2が約6m、No.3が約5mとなる。掘削深度はトレンチNo.1が約2m、No.2が約2.2m、No.3が約2.1mとなる。

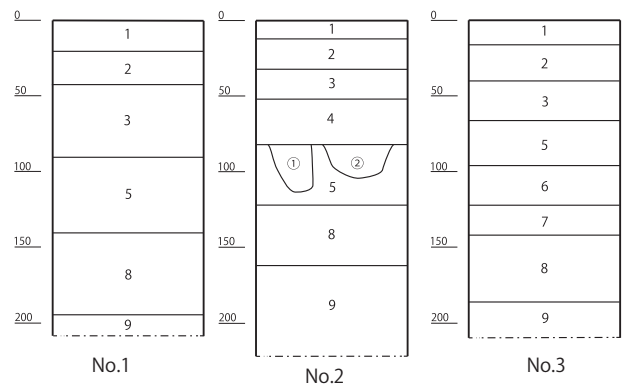
当該地は、小合志原遺跡の範囲内ではないが、遺跡から50m以内の隣接地であるため、試掘調査を行った。その結果、遺構、遺物はともに確認できなかった。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1400)



土層注記

- 1層 表土
- 2層 褐色粘質土 下層に比べあまりしまりが無い。橙色粒含む。
- 3層 褐色粘質土 しまりが強く、粘性あり。
- 4層 暗褐色粘質土
- 5層 クロニガ 粘性が強い。
- 6層 暗褐色粘質土 しまりが強く、粘性が強い。クロニガに近い。
- 7層 暗黄褐色粘質土 粘性強い。ニガシロに近い。
- 8層 ニガシロ
- 9層 ローム
- ①層 ②層類似
- ②層 3層類似

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面

御領遺跡

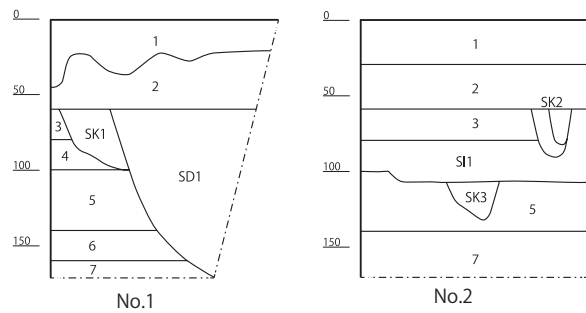
【所在地】合志市 福原字居屋敷 2302-1

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは幅約0.7m、長さはトレンチNo.1が約6m、No.2が約5mとなる。掘削深度はトレンチNo.1が約1.7m、No.2が約1.9mとなる。

当該地は、御領遺跡の範囲内である。今回の確認調査ではトレンチNo.1において弥生土器の破片が出土し、地表下約0.6mの3層上面で堀跡が検出された。トレンチNo.2においては弥生土器の破片が出土し、地表下約1m～1.1mの5層で硬化面と土坑が確認された。そのうえで、工事内容も含め、遺構面までは掘削が及ばないので、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



土層注記

- 1層 表土
- 2層 黒褐色粘質土
- 3層 暗褐色粘質土
- 4層 灰黄褐色粘質土 ニガシロのブロックを含み硬質。
- 5層 クロニガ
- 6層 灰黄褐色粘質土 ニガシロの一部。
- SD1 黒褐色粘質土 しまりはない。
- SK1 暗褐色粘質土 しまりはなく、炭化物を含む。
- SI1 暗褐色粘質土 硬化面が見られたため住居跡？
- SK2 褐色粘質土
- SK3 褐色粘質土 住居に伴う土坑？

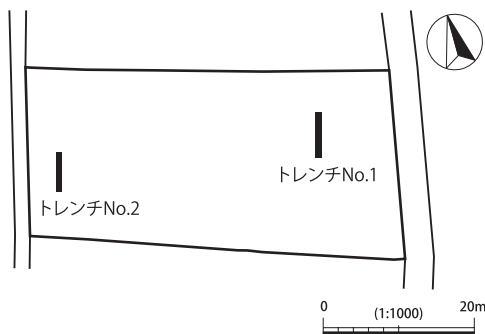
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

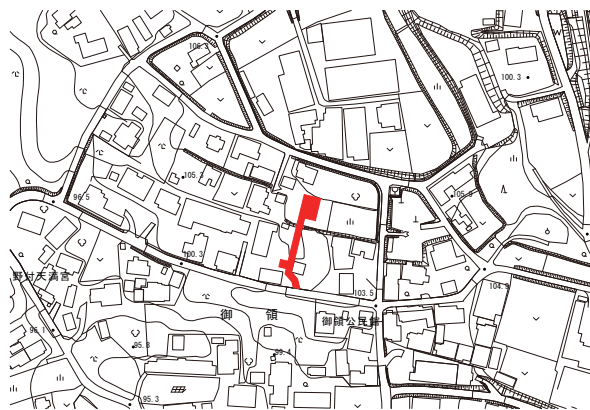
野付遺跡

【所在地】合志市 福原字居屋敷 2246 他

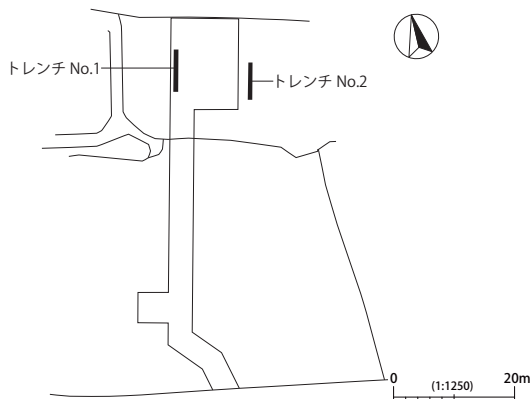
申請地内に 2 箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。計画では個人専用住宅を新規に現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは 2 箇所あり、幅は約 0.7m で、長さはトレンチ No.1 が約 7 m、No.2 が約 6 m、掘削深度はトレンチ No.1 が約 1.75 m、No.2 が約 1.7 mとなる。

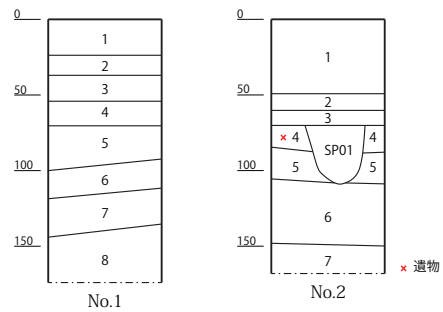
当該地は、野付遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、トレンチ No.2 は地表下約 0.7m の 4 層上面において PIT を確認した。また、地表下約 0.75m において遺物を確認したが、工事内容も含め、遺構面までは掘削が及ばないため、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



第 1 図 地形図 (1/5000)



第 2 図 トレンチ位置図 (1/1250)



土層注記

1 層	表土	
2 層	暗褐色粘質土	橙色ブロックを多量に含む。
3 層	黒褐色粘質土	粒子が細かくしまりがない。
4 層	明褐色粘質土 (包含層)	ややしまる。
5 層	褐色粘質土	やや硬質でしまる。
6 層	明褐色粘質土	やや硬質でしまる。
7 層	暗褐色粘質土	硬質でクロニガを含む。
8 層	暗褐色粘質土	ニガシロ
SP01	褐色粘質土	焼土混入、しまりはない。

第 3 図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 壁面

原口新城跡

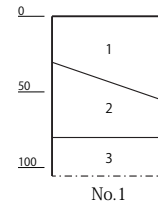
【所在地】 合志市 豊岡宮本 226 - 2

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は地表下約 1.05 mまで掘削した。土層の堆積状況は約 0.55m まで攪乱の層があり、その下に2層のニガシロ、3層の黄褐色粘質土（ローム）が堆積する。

当該地は、原口新城跡の範囲内である。道路を隔てて、南東方向には国泰寺跡が隣接する。今回の確認調査では遺物が確認できたが、遺構は確認できなかった。工事内容も含め、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



土層注記

- 1層 黒褐色粘質土 カケラン
- 2層 黄褐色粘質土 ニガシロ
- 3層 黄褐色粘質土 ローム

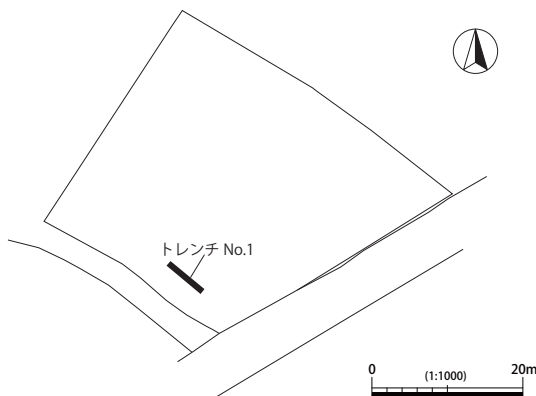
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

第6節 令和4年度の調査 竹迫字水迫

【所在地】合志市 竹迫字水迫 230、232

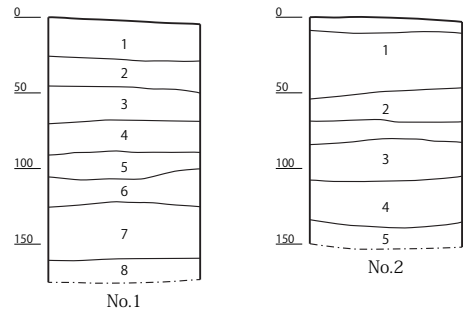
申請地内に2箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、工場を建設する予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチ No.1 と 2 は幅約 0.7 m で、長さ約 4 m、掘削深度はトレンチ No.1 が約 1.75 m、No.2 が約 1.55 m となる。

土層堆積状況は地表面より 1、2 層の耕作土、3 層の暗褐色土、4 層の黒褐色土、5 層の暗褐色土、6 層の黒褐色土、7 層の暗褐色土、8 層の黄褐色粘質土（ローム）と順に堆積する。

今回の試掘調査は、開発面積が 5000㎡を超えるために行ったものである。試掘調査の結果、遺構、遺物はともに確認できなかった。

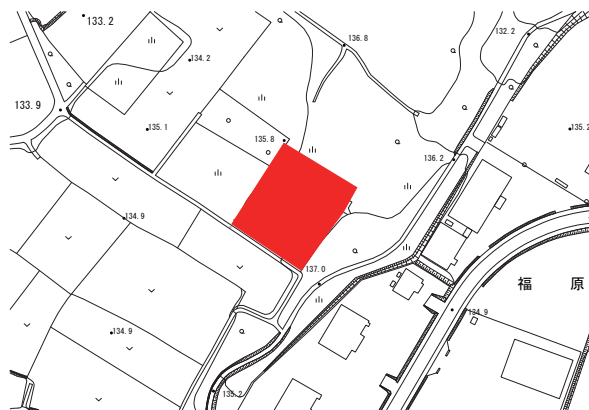


土層注記

トレンチ No.1

- | | | |
|----|--------|------------------------------|
| 1層 | 黒褐色土 | 耕作土 |
| 2層 | 黒褐色土 | しまりが強い。 |
| 3層 | 暗褐色土 | しまりが強い。やや粘質。 |
| 4層 | 黒褐色土 | 3層よりしまりは弱い。やや粘質。 |
| 5層 | 暗褐色土 | しまりはある。やや粘質。1mm程度の黄褐色粒を少量含む。 |
| 6層 | 黒褐色土 | しまりはある。やや粘質。4層より少し暗い。 |
| 7層 | 暗褐色土 | しまりはある。やや粘質。下方は黄褐色粘質土が多く混入。 |
| 8層 | 黄褐色粘質土 | ローム |

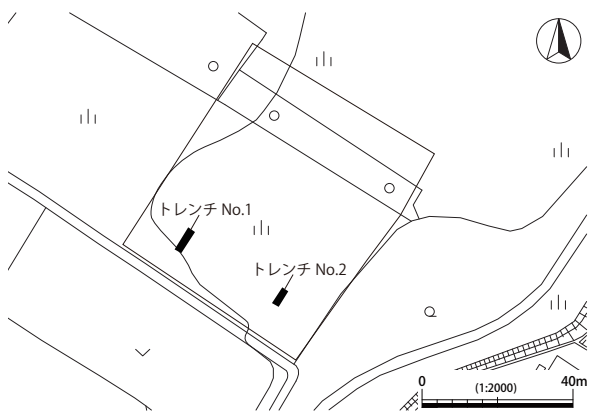
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



トレンチ No.1 壁面



第2図 トレンチ位置図 (1/2000)



トレンチ No.2 壁面

千経塚遺跡

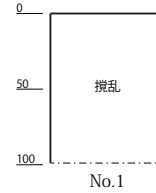
【所在地】 合志市 上庄字千経塚 2736 - 1、2、3

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを人力により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、補強盛土による道路改良工事で、深度2mの掘削の後に、補強盛土を行う予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1は幅約0.7m、長さ約4m、深度約1mまで掘削した。その結果、攪乱と判断した。

当該地は、千経塚遺跡の範囲内である。旧地形は既に3m以上削平されており、遺構は確認できなかった。斜面部も踏査を行ったが、遺物の出土は確認できなかった。



第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



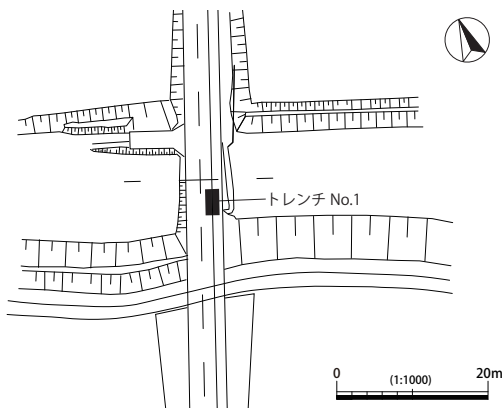
第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



トレンチ No.1



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

野田原遺跡

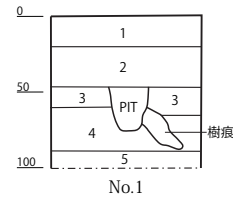
【所在地】 合志市 野々島字芝原 5359 - 4

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m で、長さ約 5 m、掘削深度は約 1 m となる。地表下約 0.5m の3層上面において PIT が確認できたが、遺物は確認できなかった。

当該地は野田原遺跡の範囲内ではあるが、盛土主体の工事であるため、遺構面まで掘削は達しない。浸透柵埋設は、掘削深度が約 2 m 以上の掘削により遺構面まで達するが、面積が狭小であるため、工事立会が望ましいと判断した。

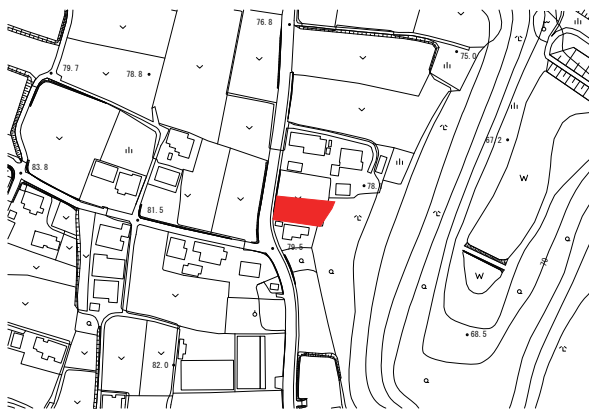


土層注記

トレンチ No.1

- 1層 黒褐色土
- 2層 黒褐色土 やや硬質、ややしまる。
- 3層 暗褐色土
- 4層 黒褐色土
- 5層 暗褐色土
- PIT 暗褐色粘質土 2層主体でしまりが無い

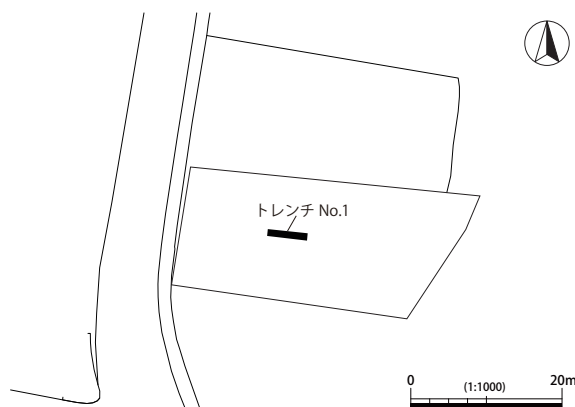
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

小合志原遺跡隣接地

【所在地】 合志市 合生 3822 - 4

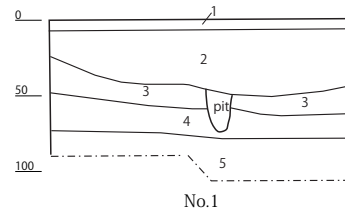
申請地内に1箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチ No.1 は幅約0.7m で、長さ約8.5 m、掘削深度は約 1.1 m である。

当該地は小合志原遺跡の範囲内ではないが、遺跡から 50 m 以内の隣接地であることから、試掘調査を実施した。

今回の調査では地表下約 0.5m で1基の PIT が確認できたが、遺物は確認できなかった。トレンチ No.1 の耕作土直下に落ち込みを確認したが遺構と判断することはできなかった。そのうえで、埋蔵文化財は無いと判断した。

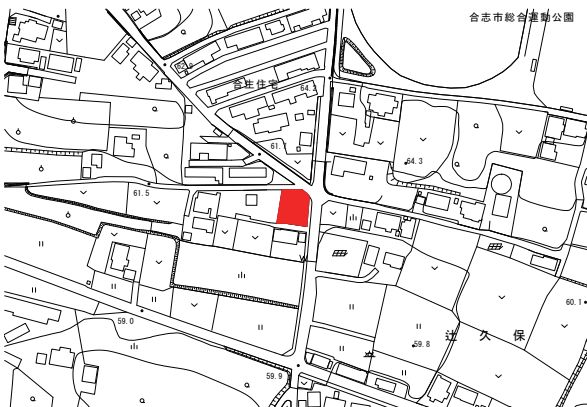


土層注記

トレンチ No.1

- 1層 表土
- 2層 明褐色土 しまりはある。やや粘質。50cm 程度の硬くしまりが強い塊が数ヶ所にある。
- 3層 暗褐色土 しまりはある。やや粘質。黄色味を帯びる層。2～8cmのブロック状のクロニガを少量含む。1mm以下の黄褐色粒を少量含む。
- 4層 暗褐色土 しまりが強く粘度が高い。2～8cmのブロック状のクロニガを少量含む。
- 5層 暗褐色土 しまりが強く粘性が強い。
- PIT 暗褐色粘質土 2層と3層が混ざる。

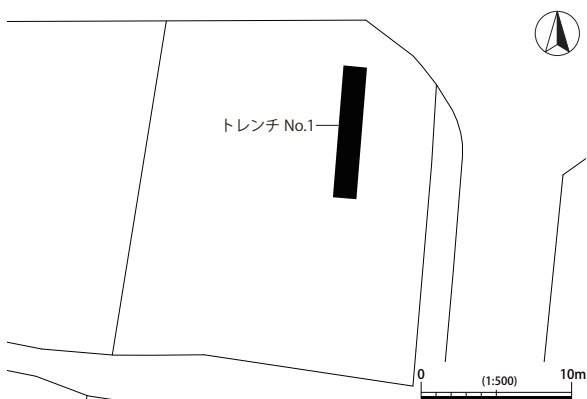
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



トレンチ No.1 壁面

野付遺跡

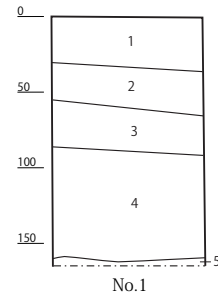
【所在地】合志市 福原字東鶴 2176 - 1

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1は幅約0.8mで、長さ約4.8m、掘削深度は約1.6mとなる。土層堆積状況は約0.4mの表土直下に、2層の明褐色粘質土、3層の明褐灰色粘質土、4層の褐灰色粘質土、5層の黄褐灰色粘質土が順に堆積する。

当該地は野付遺跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物をともに確認できなかった。

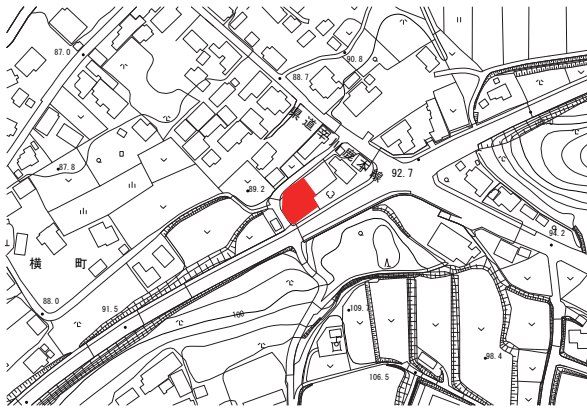


土層注記

トレンチ No.1

- 1層 表土
- 2層 明褐色土 小礫(1cm)混入し、やや硬質。
- 3層 暗褐色土 粘性強く、しまりがある。
- 4層 暗褐色土 粘性非常に強く、ややしまる。炭化物粒・橙色粒を含む。
- 5層 暗褐色土 粘性が強い。

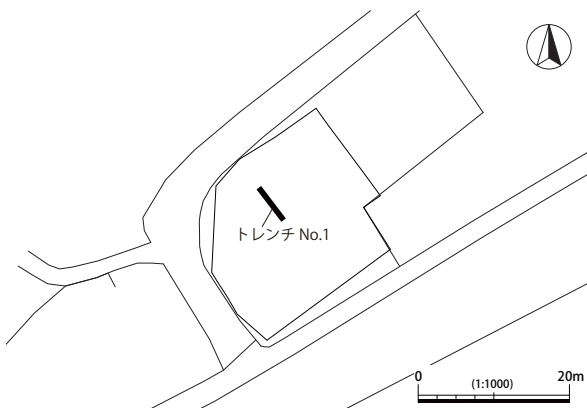
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

高木原遺跡

【所在地】合志市 合生字高木原 97 - 2

申請地内に4箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、新規の開発工事を行うため、事前の確認調査依頼を受け、調査を実施した。

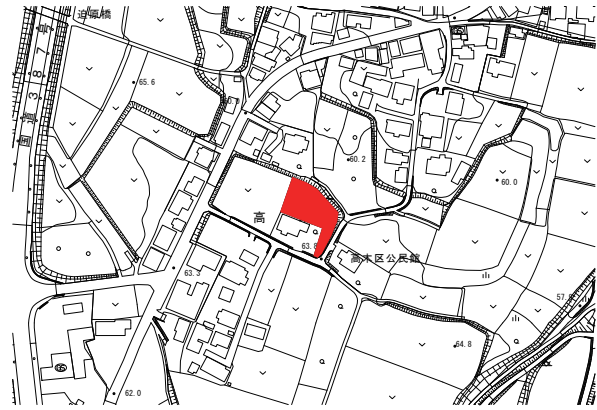
確認調査トレンチは、幅は最大1.5m～2mまで拡幅した。長さはトレンチ No.1 が約6m、No.2 が約7m、No.3 が約7.5m、No.4 が約9mとなる。掘削深度はトレンチ No.1 が約2m、No.2 が約1.9m、No.3 が約2.8m、No.4 が約1.6mとなる。

当該地は、高木原遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、トレンチを4箇所設定した。また、平成30年の発掘調査では、弥生時代と古代の竪穴建物跡や溝跡などが確認されている。トレンチの土層断面(第3図)を観察の結果、I層が表土、II層が近世以降の堆積土、III層が古代の遺物包含層と考えられる。III層以下の層からも遺物が多く確認され、トレンチ No.1、2、3 では、遺構の埋土が確認された。

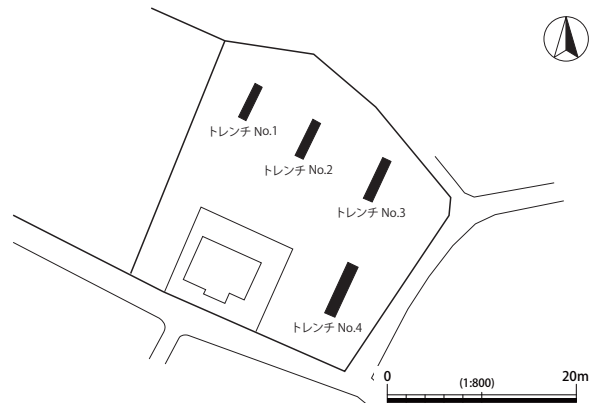
特に、トレンチ No.1 の5層の黒褐色土は、黄褐色粒と橙色粒を多く含み、しまりが弱く、炭化物や焼土を含むものとみられることから、遺構の可能性が高い。また8層は、柱穴と考えられる。他のトレンチでも同様に、遺構の埋土、または遺物包含層とみられる。

平成30年の発掘調査と、今回の確認調査を合わせた結果、北方向に下がる地形が復元できる。また地表面より約0.7m～1mでIII層の遺物包含層に達する。

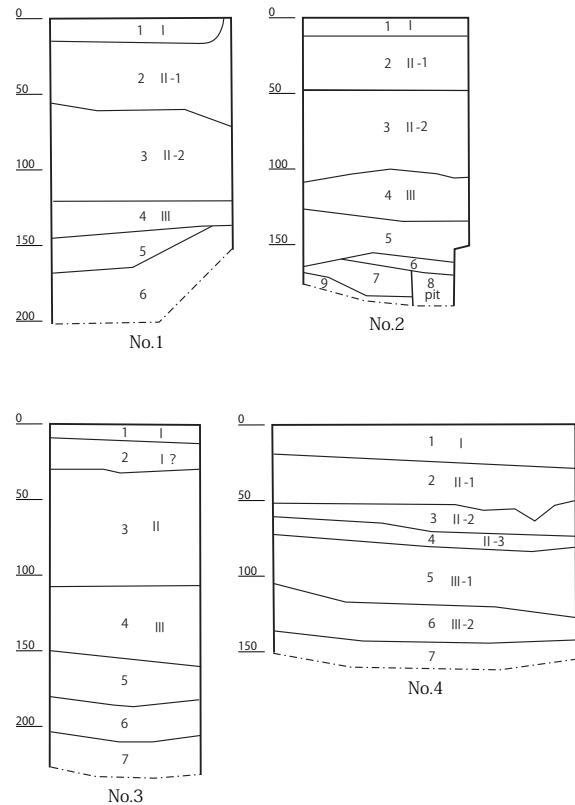
以上のことから約0.7mより深い掘削工事の場合は、本調査の必要があると判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/800)



第3図 トレンチ土層断面図1 (1/50)

土層注記

トレンチ No.1

- 1層 黒色土 (I層) 表土
- 2層 黒褐色土 (II-1層)
しまりはある。やや粘質。
0.1～0.2cmの黄褐色粒と橙色粒をやや多く含む。
0.1～0.2cmの炭化物を少量含む。
- 3層 黒褐色土 (II-2層)
しまりはある。やや粘質。
0.1～1cmの黄褐色粒を多く含む、0.1～0.2cmの橙色粒をやや多く含む。
- 4層 黒褐色土 (III層)
しまりは弱い。やや粘質。
0.1～1cmの黄褐色粒を少量含む、0.1～0.2cmの橙色粒をやや多く含む。
- 5層 黒褐色土
しまりは弱い。粘質。
- 6層 黒色土
0.1～0.2cmの黄褐色粒と0.1～0.2cmの橙色粒を少量含む。

トレンチ No.2

- 5層 黒褐色土
しまりは弱い。粘質。
0.1～0.5cmの黄褐色粒を少量含む、0.1～0.2cmの炭化物を少量含む。
- 6層 黒褐色土
しまりは強い。粘質。
7層の土と黄褐色粘質土の混合。硬化面か？
- 7層 黒褐色土
しまりは強い。粘質。
- 8層 6層の黄褐色粘質土が混入。柱穴と思われる。
- 9層 黄褐色粘質土 ニガシロ

トレンチ No.3

- 5層 灰褐色粘質土
0.1～0.2cmの黄褐色粒と0.2～0.5cmの橙色粒を多く含む、
0.1～0.2cmの炭化物を少量含む。
- 6層 灰褐色粘質土
しまりはない。
0.1～0.3cmの黄褐色粒を少量含む、0.1～0.3cmの橙色粒を僅かに含む。0.1～0.2cmの炭化物を僅かに含む。
- 7層 灰褐色粘質土
しまりは強い。
0.1～0.5cmの黄褐色粒をやや多く含む、0.1～0.3cmの橙色粒を少量含む。

トレンチ No.4

- 4層 黒褐色土 (II-3層)
しまりは強い。やや粘質。
0.1～0.5cmの黄褐色粒をやや多く含む。
- 5層 黒色土 (III-1層)
しまりはある。やや粘質。
0.1～0.2cmの黄褐色粒を僅かに含む、0.2～0.3cmの橙色粒を僅かに含む。
- 6層 黒褐色粘質土 (III-2層)
しまりは弱い。
0.1～0.3cmの黄褐色粒を僅かに含む、0.1～0.5cmの橙色粒をやや多く含む。
- 7層 しまりは弱い。
黄褐色粘質土と6層の土の混合。

第3図 トレンチ土層断面図2 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.3 壁面



トレンチ No.4 壁面

小合志原遺跡

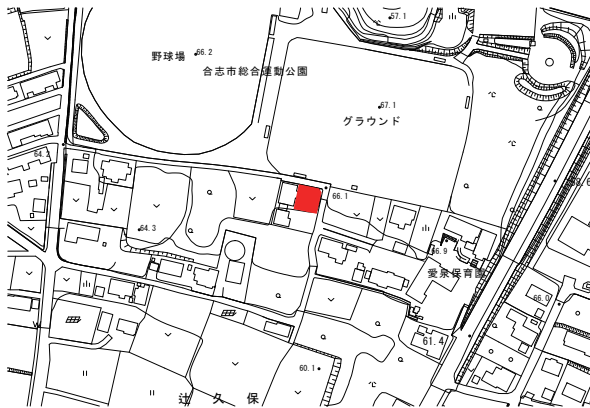
【所在地】 合志市 合生 3850 - 21

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

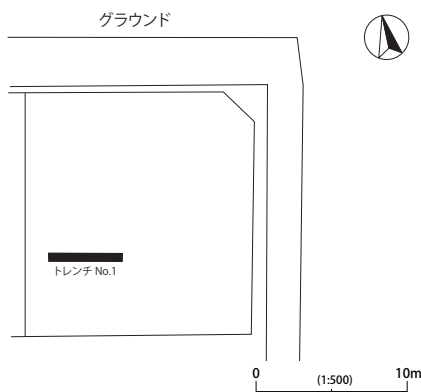
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m、長さは約 5m、掘削深度は約 1m となる。

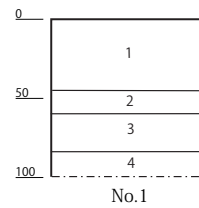
当該地は、小合志原遺跡の範囲内である。昭和 55 年 11 月～昭和 56 年 1 月まで総合運動公園に伴ない発掘調査が実施された。発掘調査の結果、縄文時代後期、弥生時代後期、古墳時代の竪穴建物跡や円形周溝遺構、土坑、道路状遺構が確認された。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



第 1 図 地形図 (1/5000)



第 2 図 トレンチ位置図 (1/500)



土層注記

トレンチ No.1

- 1層 表土
- 2層 暗褐色粘質土 キメが細かくややしまる。
- 3層 灰褐色粘質土 やや硬質でしまる。
- 4層 明褐色粘質土 ニガシロ

第 3 図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.1 壁面

陣ノ内遺跡

【所在地】合志市 上庄 19-3

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

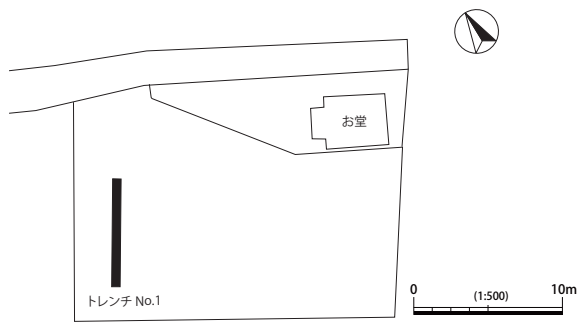
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m で、長さは約 7m、掘削深度は約 1m となる。

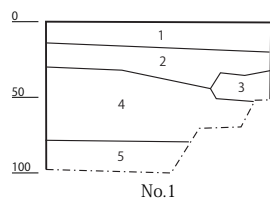
今回の確認調査では、集石がトレンチ No.1 の南西側の表土直下で確認されたが、時期が不明であることから埋蔵文化財として認定することはできなかった。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



土層注記

トレンチ No.1

- 1層 表土
- 2層 暗褐色粘質土 やや粘性あり。
- 3層 暗褐色灰色粘質土 クロニガ含む。
- 4層 クロニガ
- 5層 ニガシロ

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.1



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.1 集石

須屋城跡

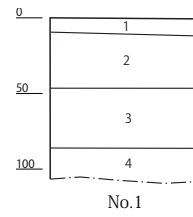
【所在地】合志市 須屋字西谷 687 - 1

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため確認調査を実施した。

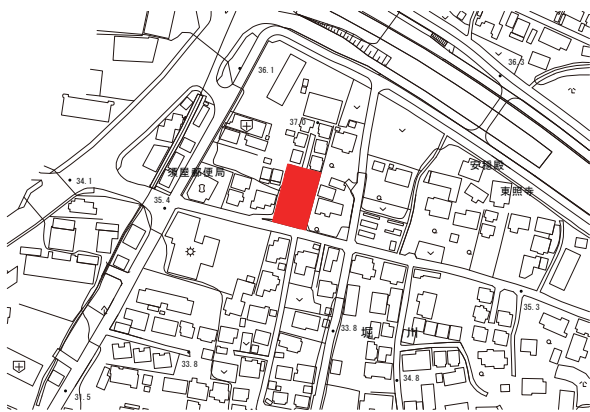
確認調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m で、長さは約 3 m、掘削深度は約 1.1 m となる。

当該地は、須屋城跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



- 土層注記
トレンチ No.1
- 1層 バラス
 - 2層 褐色土 近代
 - 3層 暗褐色粘質土 やや粘質、しまりはない。
 - 4層 明褐色粘質土 しまりはある。

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



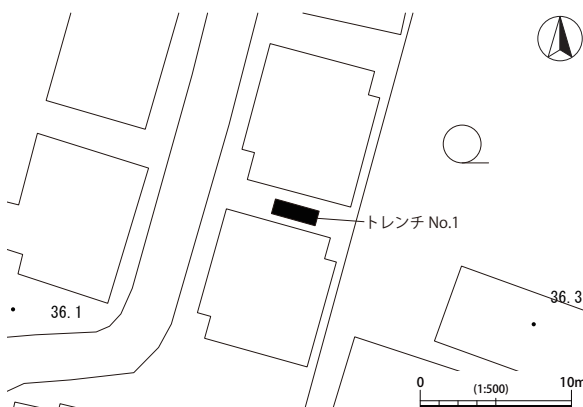
第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/500)



トレンチ No.1 壁面

野田原遺跡隣接地

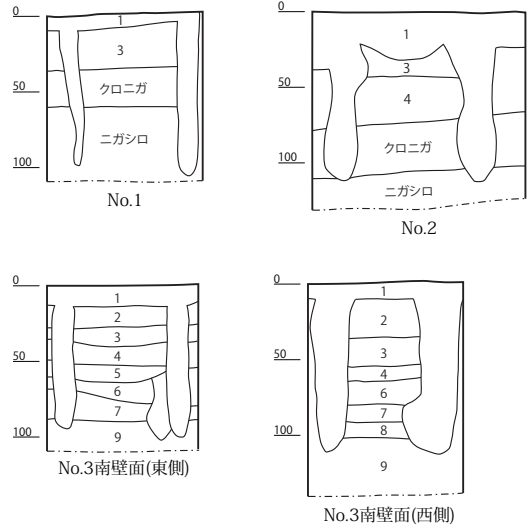
【所在地】合志市 野々島字芝原 5343 - 1

申請地内に3箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1が約3.5m、No.2が約4.5m、No.3が約7mで、掘削深度は、トレンチNo.1が約1.1m、No.2が約1.3m、No.3が約1.4mである。

当該地は野田原遺跡の範囲内ではないが、遺跡から50m以内の隣接地であることから、試掘調査を実施した。今回の調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



土層注記

トレンチNo.1

- 1層 耕作土1
- 2層 耕作土2
- 3層 暗褐色粘質土 橙色粒0.5cm混入、やや硬質でややしまりあり。
- 4層 暗褐色粘質土 橙色粒やや多く、あまりしまらない。
- 5層 暗褐色粘質土 焼土粒を多く含み、しまらない。(埋土か?)
- 6層 黒褐色粘質土 キメ細かく、軟質である。
- 7層 明褐色粘質土 ややしまりがある。遺物包含層。
- 8層 明褐色粘質土 7層よりしまる。硬い。
- 9層 褐灰色粘質土 粘性強く、やしまる。

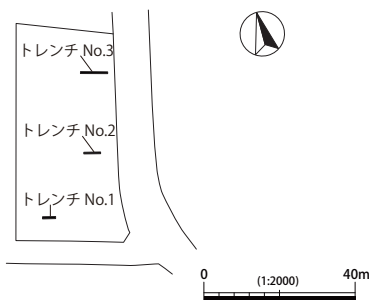
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/2000)



トレンチNo.3 壁面

出口遺跡隣接地

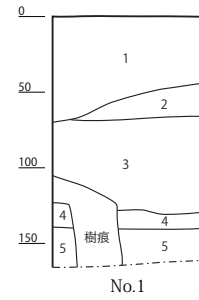
【所在地】合志市 上庄字筒井 1366、1374 - 1

申請地内に1箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m で、長さは約 4.5 m、掘削深度は約 1.65m となる。

当該地は出口遺跡の範囲内ではないが、遺跡から 50 m 以内の隣接地であることから、試掘調査を実施した。地元の方より、東側竹林に残る堀跡がかつて延びており、調査箇所、東の境界で屈曲して、未舗装の道に続いていたと聞いた。今回の調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。

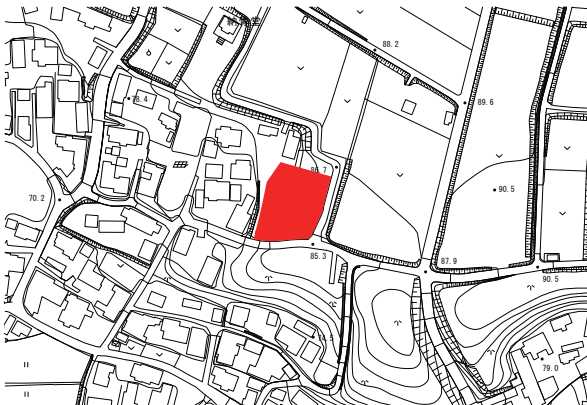


土層注記

トレンチ No.1

- | | | |
|----|------|------------------------------------|
| 1層 | カクラン | |
| 2層 | 明褐色土 | しないはある。 |
| 3層 | 暗褐色土 | 0.1cm 程度の橙色粒を多く含み、炭化物を少量含む。しまりはある。 |
| 4層 | 明褐色土 | 0.1～0.2cm の炭化物を少量含む。しまりはある。 |
| 5層 | 明褐色土 | しまりはやや強い、ニガを含む。 |

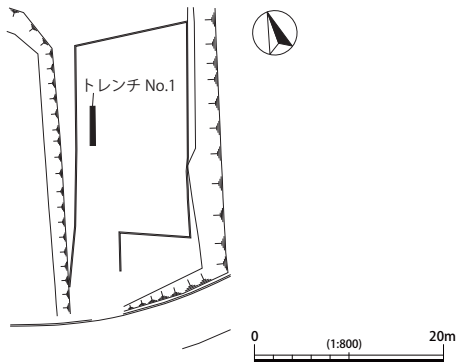
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/800)



トレンチ No.1 壁面

寺崎遺跡隣接地

【所在地】合志市 上庄字寺崎 2146 - 5、7、
2151 - 4、2152 - 4

申請地内に4箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

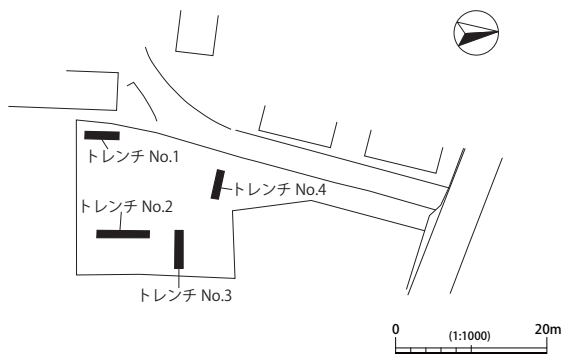
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチは4箇所あり、幅は全て約0.7m、長さはトレンチ No.1 が約4.5 m、No.2 が約7 m、No.3 が約5 m、No.4 が約4mで、掘削深度はトレンチ No.1 が約1.8m、No.2 が約1.7m、No.3 が約1m、No.4 が約1.5mである。

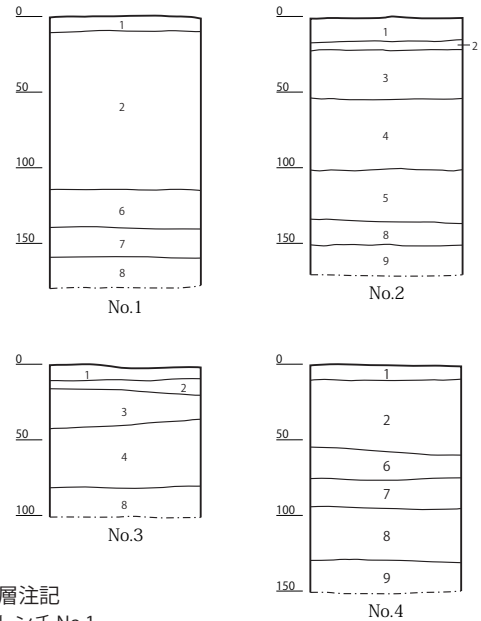
当該地は寺崎遺跡の範囲内ではないが、遺跡から50 m以内の隣接地であることから、試掘調査を実施した。当該地には方形の区画が存在するため、館跡を想定していたが、遺構は確認できなかった。また、少量の土師器の破片が出土したが、調査の結果、遺構は確認できなかった。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



土層注記

トレンチ No.1

- 1層 表土
- 2層 客土
- 3層 暗褐色粘質土 橙色粒と炭化物を含み、あまりしまらない。
- 4層 褐色粘質土 しまりはない。
- 5層 暗褐色粘質土 混入は少なく、やや硬質。
- 6層 褐色粘質土 やや硬質。橙色粒と炭化物を僅かに含む。
- 7層 暗褐色粘質土 キメが細かく、あまりしまらない。
- 8層 ニガシロ
- 9層 ニガシロ 硬質。

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面

船入遺跡隣接地

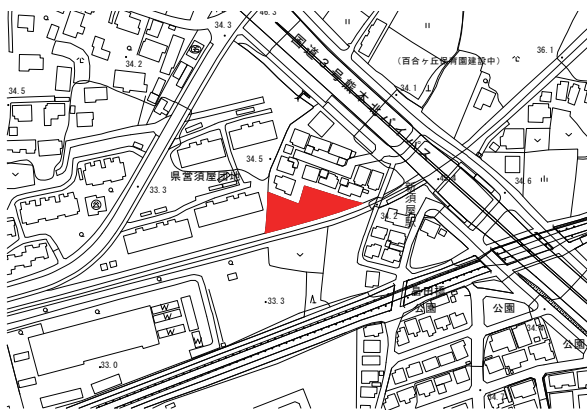
【所在地】 合志市 船入 470 - 1、472 - 4、5、6

申請地内に3箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

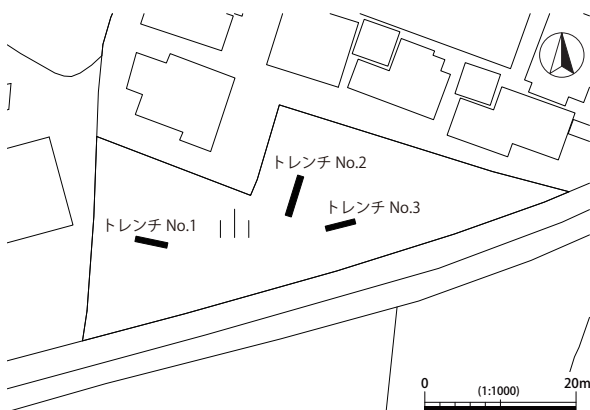
計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さはトレンチNo.1が約5m、No.2が約5.5m、No.3が約4.5mで、掘削深度はトレンチNo.1が約1.6m、No.2が約2m、No.3が約1.9mである。

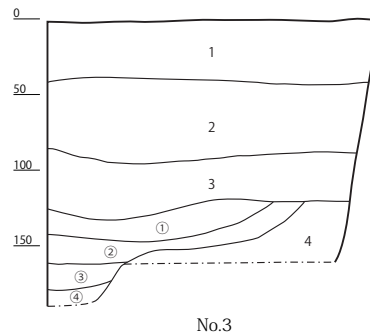
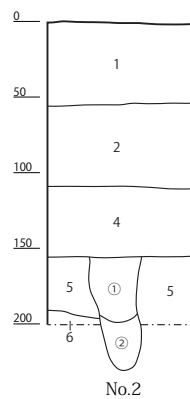
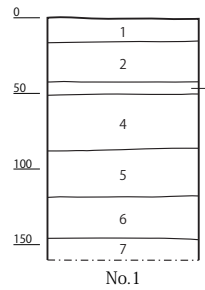
当該地は船入遺跡の範囲内ではないが、遺跡から50m以内の隣接地であることから、試掘調査を実施した。今回の試掘の結果、遺物は縄文土器、瓦質土器、土師器の破片が出土した。遺構はトレンチNo.3において地表下約1.2mの4層上面に溝跡を検出した。そのうえで、工事内容も含め、遺構面までは掘削が達しないため、埋蔵文化財に影響を与えることはないと判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



土層注記

トレンチ No.1

- 1層 表土
- 2層 褐色粘質土 現代
- 3層 灰褐色粘質土 耕作土、しまりが強い、0.5～1cmの小石粒を少量含む
- 4層 褐色粘質土 しまりは強い、0.2～0.5cmの橙色粒を少量含む、炭化物をわずかに含む。
- 5層 暗褐色粘質土 しまりはある、内容物は4層と同じ。
- 6層 明褐色粘質土 しまりはある、5層の土が少量混入。内容物は混入しない。
- 7層 明褐色粘質土 しまりは弱い、粘性が強くベタベタしている。0.5～1cmの小石粒を少量含む。

※トレンチ No.1 は No.2、No.3 の土質と異なる。

第3図 トレンチ土層断面図1 (1/50)

土層注記

トレンチ No.2

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 1層 客土 | 現代 |
| 2層 褐色粘質土 | 粘性はやや強く硬質、1cm程度の橙色粒を含み、ややしまる。 |
| 4層 明褐色粘質土 | 粘性は弱く、しまりはない1cm程度の小石粒を含む。 |
| 5層 暗灰褐色粘質土 | しまりはない、1cm程度の小石粒を多く含む。 |
| 6層 明褐色礫混入層 | |

PIT1

- | | |
|-----------|------------|
| ①層 暗褐色粘質土 | あまりしまらない。 |
| ②層 褐色粘質土 | 小石粒を僅かに含む。 |

トレンチ No.3

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 1層 客土 | 現代 |
| 2層 褐色粘質土 | 粘性はやや強く硬質、1cm程度の橙色粒を含み、ややしまる。 |
| 3層 褐色粘質土 | 粘性はやや強く、あまりしまらない。 |

SD-01

- | | |
|------------|----------------|
| ①層 暗褐色粘質土 | やや粘性、あまりしまらない。 |
| ②層 褐色粘質土 | ボンボンしたしまりのない土。 |
| ③層 褐色粘質土 | ②層に類似。やや粘性。 |
| ④層 暗灰褐色粘質土 | やや硬質。小石粒を含む。 |

第3図 トレンチ土層断面図2 (1/50)



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.2 PIT1



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面



トレンチ No.1



トレンチ No.3 壁面

花園遺跡

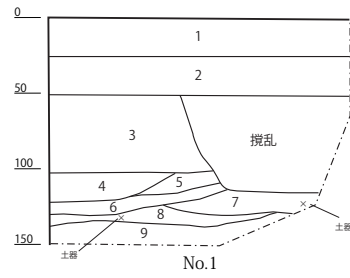
【所在地】 合志市 野々島字花園 5136 - 1

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m で、長さは約 4.5 m、掘削深度は約 1.5 m である。

当該地は、花園遺跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構は確認できなかったが、土師器の破片と遺物包含層を確認できた。敷地内には、阿弥陀如来立像来迎図先刻板碑（享禄3年）が設置されており、この板碑については現状のままである。工事内容は、切土工事により約 1.6 m 削平を受ける部分があるが、掘削面積が狭小な為、工事立合が望ましいと判断した。



土層注記

トレンチ No.1

- 1層 表土
- 2層 明褐色粘質土 硬化しており、しまらない土。
- 3層 褐色粘質土 橙色粒をわずかに含む、やや軟質であまりしまらない。
- 4層 暗褐色粘質土 やや硬質、あまりしまらない。
- 5層 褐色粘質土
- 6層 暗褐色粘質土 ニガシロのブロック細粒を含む、あまりしまらない。
- 7層 灰褐色粘質土 キメが細かく、しっとりしている。
- 8層 明褐色粘質土
- 9層 ニガシロ

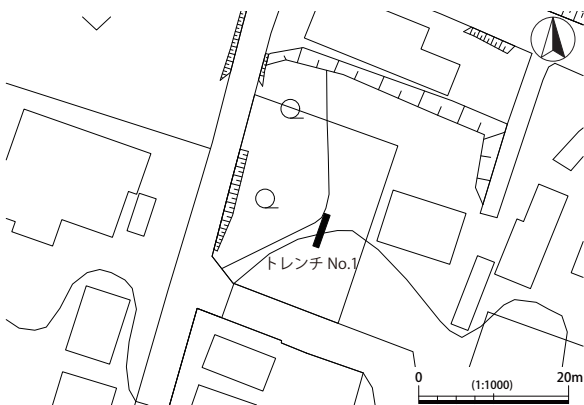
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

高木原遺跡

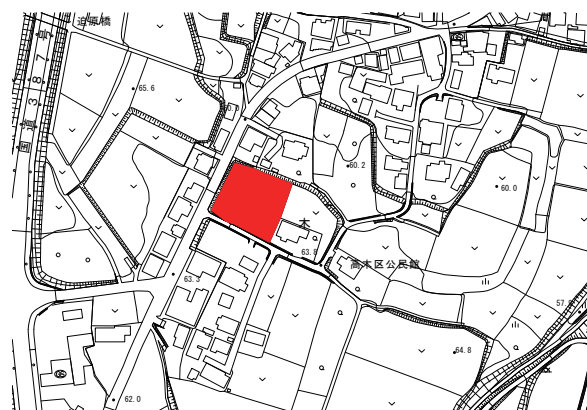
【所在地】合志市 合生字高木 97-1

申請地内に3箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。事前の確認調査依頼を受け、調査を実施した。

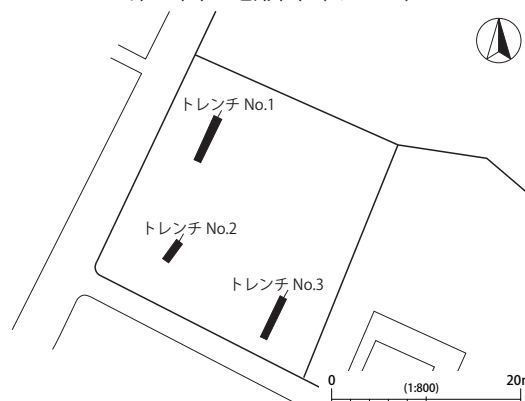
確認調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.8mで、長さはトレンチNo.1が約8m、No.2が約4m、No.3が約7m、掘削深度はトレンチNo.1が約0.9m、No.2が約0.7m、No.3が約1mとなる。確認調査トレンチNo.1では溝が2条検出された。そのうち、S-1は地表下約0.3mで4層の黒褐色粘質土層下位から、弥生の壺形土器が確認された。このS-1の深度は地表面から約1.15mとなる。S-2は幅約0.8m、地表面からの深度は約0.1mとなる。トレンチNo.2は地表下約0.1mでPITが確認された。幅は約0.4mで地表面からの深度は約0.5mとなる。トレンチNo.3は土坑が1基、PITが2基、確認された。

当該地は高木原遺跡の範囲内である。今回の確認調査では、3箇所の確認調査トレンチから遺構と遺物が確認できた。南西側はすでに削平を受けており、表土直下に遺構を確認した。東側隣接地の確認調査結果から、当該地より北東側に低くなる旧地形を復元できる。

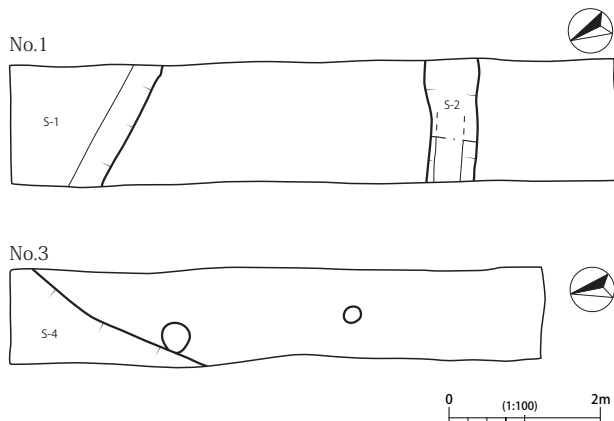
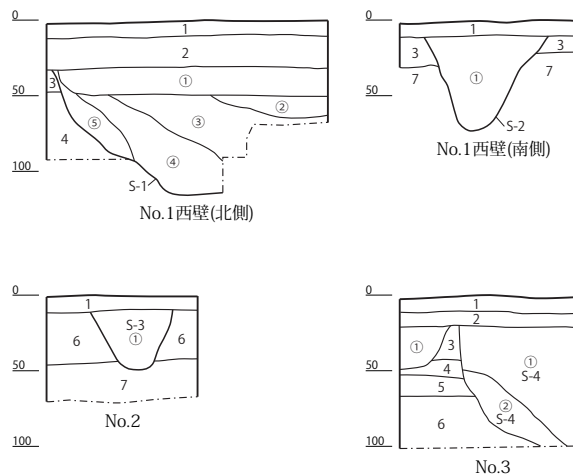
また平成30年の発掘調査では、弥生時代や古代の竪穴建物跡、溝などが確認されている。以上のことから、開発を行うにあたっては、本調査が必要であると判断した。



第1図 地形図 (1/5000)



第2図 トレンチ位置図 (1/800)



第3図 トレンチ遺構実測図1
(土層 1/50・平面 1/100)

土層注記

- 1層 表土
- 2層 褐色粘質土 橙色粒子を多く含み、硬質。しまりは
ない。
- 3層 黒褐色粘質土 橙色粒を含む。しまりはない。遺物
包含層。
- 4層 明褐色粘質土
- 5層 明褐色粘質土 ニガのブロックを含む。やや粘質。
しまりはある。
- 6層 クロニガ
- 7層 ニガシロ

S-1

- ①層 明褐色粘質土 遺物を含む。しまりはない。
- ②層 明褐色粘質土 橙色粒を多く含み、しまらない。
- ③層 褐色粘質土 ニガシロを含む。
- ④層 黒褐色粘質土
- ⑤層 褐色粘質土

S-2

- ①層 暗褐色粘質土 遺物を含む。しまりはない。

S-3

- ①層 暗褐色粘質土 遺物を含む。しまりはない。

S-4

- ①層 暗褐色粘質土 遺物を含む。しまりはない。
- ②層 暗褐色粘質土 褐色粒子を多く含み、しまらない。

第3図 トレンチ遺構実測図2



トレンチ No.1



トレンチ No.1 壁面



トレンチ No.1 遺物出土状況



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面



調査箇所全景



トレンチ No.3 壁面

八反畑遺跡

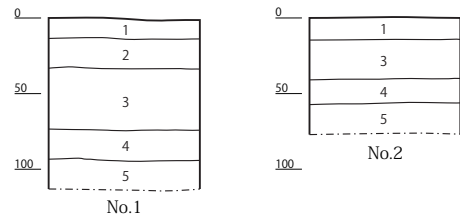
【所在地】合志市 野々島字八反畑 4811 - 4

申請地内に2箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、小学校駐車場の造成工事を行う予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチは2箇所あり、幅は約0.7mで、長さはトレンチNo.1は約6.5m、No.2は約5m、掘削深度はトレンチNo.1が約1.1m、No.2が約0.76mである。

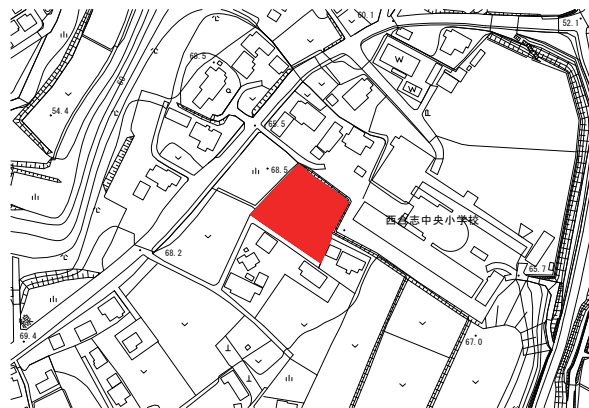
当該地は、八反畑遺跡の範囲内である。今回の確認調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。



土層注記

- 1層 表土
- 2層 褐色粘質土 あまりしまらない。
- 3層 明褐色粘質土 ややしまる。
- 4層 暗褐色粘質土 クロニガのブロックを含む。
- 5層 ニガシロ

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



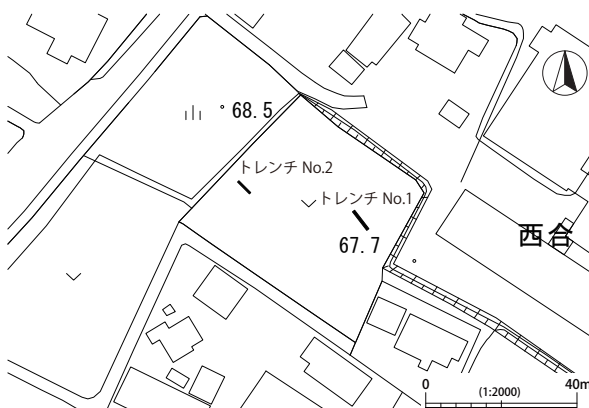
第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



トレンチ No.1 壁面



第2図 トレンチ位置図 (1/2000)



トレンチ No.2 壁面

若原石棺群隣接地

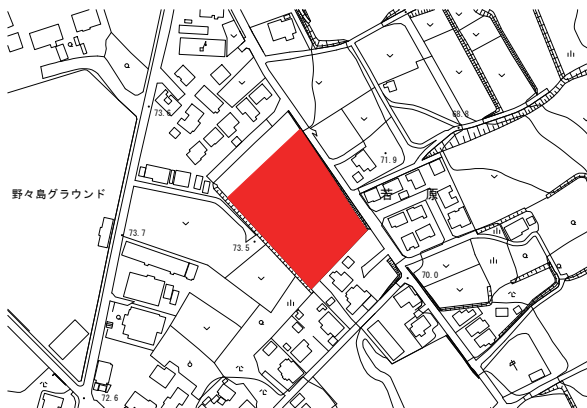
【所在地】合志市 野々島字中野 4393 - 35、84

申請地内に3箇所の試掘調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

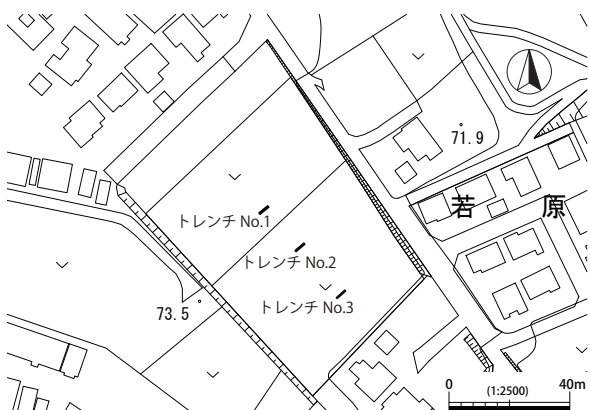
計画では、分譲住宅を新規に現況地盤に建築予定であるため、試掘調査を実施した。

試掘調査トレンチは3箇所あり、幅は全て約0.7mで、長さは全て4m、掘削深度はトレンチNo.1が約0.5m、No.2が約1m、No.3が約1.3mである。

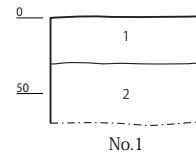
当該地は若原石棺群から50m以内の隣接地であるため、試掘調査を実施した。その結果、遺構、遺物はともに確認できなかった。



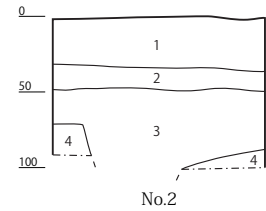
第1図 地形図 (1/5000)



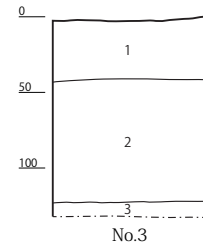
第2図 トレンチ位置図 (1/2500)



No.1



No.2



No.3

土層注記

トレンチ No.1

- 1層 耕作土
- 2層 ニガシロ

トレンチ No.2

- 1層 耕作土
- 2層 暗褐色粘質土 やや硬質。しまらがある。
- 3層 明褐色粘質土 橙色粒とブロック状のニガを含む。あまりしまらない。
- 4層 ニガシロ

トレンチ No.3

- 1層 耕作土
- 2層 カクラン ゴミが混入。
- 3層 ニガシロ

第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



調査箇所全景



トレンチ No.2 壁面

轟遺跡

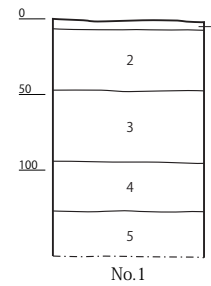
【所在地】合志市 福原字出分 673 - 1

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。

計画では、個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は幅約 0.7m で、長さは約 3 m、掘削深度は約 1.55 mとなる。

当該地は、轟遺跡の範囲内である。今回確認調査を行った場所は、以前は竹林で抜根を施した後であったため、土層の乱れを予想していた。しかし、トレンチを設定した箇所においては、土層の残りが良好であった。確認調査の結果、遺構、遺物はともに確認できなかった。



土層注記

トレンチ No.1

- | | | |
|----|------|----------------------------|
| 1層 | 表土 | バラス |
| 2層 | 褐色土 | しまりは強い。0.1～0.2cmの橙色粒を多く含む。 |
| 3層 | 暗褐色土 | しまりはある。 |
| 4層 | クロニガ | |
| 5層 | ニガシロ | |

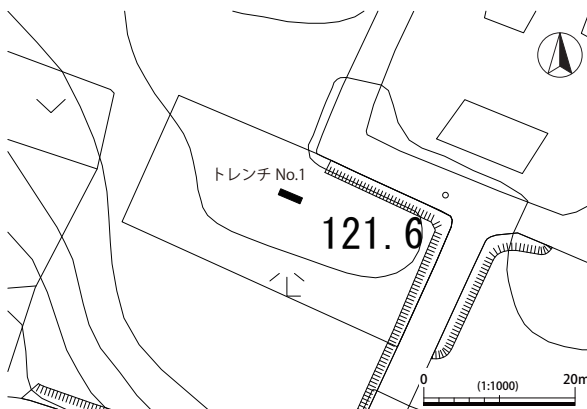
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

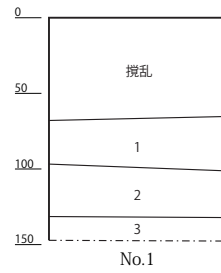
中林遺跡

【所在地】合志市 栄字屋敷 1224

申請地内に1箇所の確認調査トレンチを重機により掘り下げて、遺構と遺物の有無及びその状況を調査した。計画では個人専用住宅を現況地盤に建築予定であるため、確認調査を実施した。

確認調査トレンチ No.1 は幅約0.7m で、長さ約3.5m、掘削深度は約1.45m である。

当該地は、中林遺跡の範囲内である。今回の調査では遺構、遺物はともに確認できなかった。既にロームまで削平を受けているため、埋蔵文化財はないと判断した。

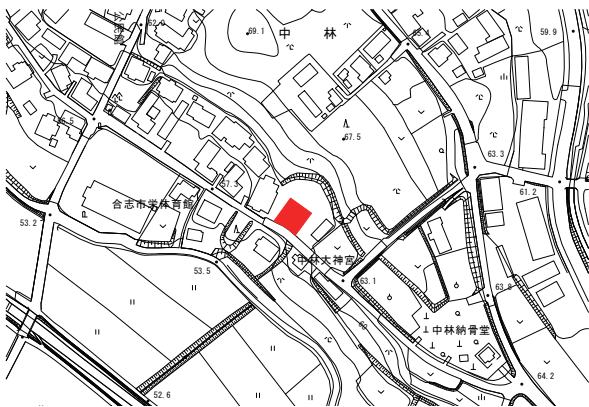


土層注記

トレンチ No.1

- | | | |
|----|--------|----------------------------------|
| 1層 | 褐色粘質土 | ややしまる。0.3cm 程度の橙色粒を含む。 |
| 2層 | 明褐色粘質土 | しまりは強い。0.1cm 程度の城色粒を含む。砂質。 |
| 3層 | 暗褐色土 | 5cm 程度の白色粘度ブロックを含む。2層よりややしまる。砂質。 |

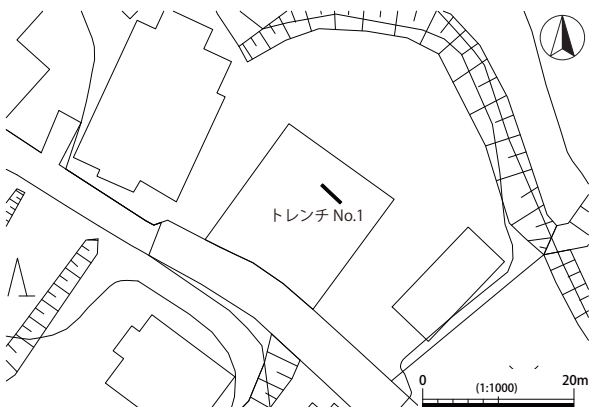
第3図 トレンチ土層断面図 (1/50)



第1図 地形図 (1/5000)



調査箇所全景



第2図 トレンチ位置図 (1/1000)



トレンチ No.1 壁面

報告書抄録

ふりがな	こうししないいせきはくつちょうさほうこくしょ						
書名	合志市内遺跡発掘調査報告書 平成29（2018）年～令和4（2023）年度						
副書名	開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査						
シリーズ名	合志市文化財調査報告						
シリーズ号	第7集						
編著者	米村大・前田純子・奈須和貴						
編集機関	合志市教育委員会						
所在地	〒861-1116 熊本県合志市福原2922						
発行年月日	2024年3月						
所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村					
市内遺跡	熊本県 合志市	407	—	—	H29～ R4	—	各種開発

合志市文化財調査報告 第7集 合志市内遺跡発掘調査報告書 平成29（2018）年度～令和4（2023）年度 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査	
発行年月日	2024年3月22日
編集・発行	合志市教育委員会 〒861-1116 合志市福原2922
印刷・製本	（資）橋本印刷 〒861-1212 菊池市泗水町豊水3515-1